

# 教 授 要 目

付 研究指導要項  
付 卒業論文執筆要領

昭和 61 年度

小樽商科大学

# 小樽商科大学教授要目

(昭和61年度)

## 目 次

学 年 暦	1
I 授業科目履修方法	1
1 昭和61年度開講科目	1
2 履 修 方 法	7
3 科目試験の受験について	26
II 教 授 要 目	27
1 一般教育科目	27
2 外国語科目	33
3 保健体育科目	59
4 基礎教育科目	64
5 専門教育科目	69
6 教 職 科 目	106
III 研究指導要項	112
IV 一般教育ゼミ	136
V 卒業論文執筆要領	137

# 学 年 曆 (昭和61年度)

昭和61年	4月15日(火)	入学式
	4月16日(水)	2.3.4年次開講
	4月16日(水)～4月18日(金)	新入生オリエンテーション
	4月19日(土)	1年次開講
	5月9日(金)	履修届締切日
	6月2日(月)～6月14日(土)	履修確認期間
	7月7日(月)	創立記念日
	7月15日(火)～7月25日(金)	履修科目の取消期間
	7月22日(火)～7月28日(月)	夏季集中講義
	7月22日(火)～8月31日(日)	夏季休業
	9月17日(水)	臨時休業
	9月18日(木)～9月30日(火)	前期定期試験
	10月1日(水)	後期授業開始
	11月8日(土)	研究指導所属オリエンテーション
	11月10日(月)～11月29日(土)	研究指導募集選考期間
	12月2日(火)	研究指導内定者発表
	12月6日(土)～12月16日(火)	履修科目の取消期間
	12月12日(金)～12月18日(木)	冬季集中講義
	12月12日(金)～62年1月18日(日)	冬季休業
昭和62年	1月31日(土)	卒業論文提出締切日
	2月2日(月)	学科課程所属オリエンテーション
	2月2日(月)～2月7日(土)	学科課程所属募集期間
	2月13日(金)	臨時休業
	2月14日(土)～2月28日(土)	後期定期試験
	3月16日(月)	卒業判定会議
	3月20日(金)	卒業式

# I 授業科目履修方法

## 1 昭和61年度 開講科目

区分	授業科目	単位数	配当年次	担当教官	備考	
一般 教育 科目	人文科学系	哲学	4	I	渡辺(祐)教授	A・B2クラス A・B2クラス
		倫理学	4	II	渡辺(祐)教授	
		心理学	4	I	和田(完)教授	
		歴史学	4	I	栗生沢教授	
		日本文学	4	I	村山教授	
	外国文学	ドイツ文学	4	II	中川教授	(後期)
		ロシア文学	4	II	松本教授	
	社会科学系	社会科学概論	2	II	和田(春)講師	{(夏季集中) 東京大学教授 本学短期大学部助教授 A・B2クラス 北海道大学助教授
		社会学	4	II	安田講師	
		社会思想史	4	I	倉田教授	
政治学		4	I	田口講師		
自然科学系	物理学	4	I	原田教授	{(前期・冬季集中) 北海道大学名誉教授 A・B2クラス	
	化学	4	I	木村講師		
	生物学	4	I	山田(家)教授		
外国	英語	I	4	I	備考参照	
		II	4	II		
		III	2	III		
	英語	ドイツ語	I	4	I	備考参照
II			4	II		
以外の	フランス語	I	4	I	備考参照	
		II	4	II		
の	中国語	I	4	I	中原助教授	
		II	4	II		

語	外国語	スペイン語	{ I 4 II 4	I II	山田(真) 助教	
		ロシア語	{ I 4 II 4	I II	松本(忠) 教授	
保健体育科目	体育講義	2	II	{ A(前期) 大竹 B(後期) 講師	本学保健管理センター所長・教授	
	体育実技	2	I・II	杉山教授 藤江教授 田野助教 中川講師	小樽商業高等学校教諭	
基礎教育科目	経済学概論	4	I	{ A 鶴沢助教 B(前期) 松井講師 B(後期) 坪沼講師		
	商学概論	4	I	篠崎教授 久野教授 石原教授		
	法学概論	4	I	{ (前期) 大谷教授 (後期) 桑原助教		
	管理科学概論	4	I	{ (前期) 樋口教授 (後期) 沼田教授		
	数学	4	I	{ 白川教授 兼岩助教		
専門教育科目	統計学	4	II	本間助教		
	数理統計学	4	III	久次教授		
	経済統計学	4	III・IV	本間助教 (前期)		
	経済原論 I	4	II	今助教		
	経済原論 II	4	II・III	山本(賢)講師		
	経済学史	4	III	栗田助教		
	経済原論 III	4	II・III	唐渡講師	北海道大学助教	
	計量経済学	4	III	遠藤助教	(後期)	
	経済史概論	4	II	井上教授		
	日本経済史	4	III	長谷川教授		
経済政策	4	III	板谷講師			

専門教育科目	工業経済学	4	III・IV	吉武教授		
	社会政策	4	III	吉武教授		
	財政学	4	III・IV	早見教授		
	国際経済論	4	III	船津講師		
	貿易政策	4	III・IV	佐竹助教		
	国際金融論	4	III・IV	松井講師		
	金融経済論	4	III・IV	今助教		
	金融政策	4	III・IV	坪沼講師		
	流通組織論	4	II	片桐講師	本学短期大学部教授	
	マーケティング	4	III	三浦講師	北星学園大学教授	
商業学科・商学科目	国際マーケティング	4	III・IV	森田助教		
	商業英語	4	III	北村講師	小樽女子短期大学長	
	保険論	4	III・IV	広海講師	(夏季集中)一橋大学教授	
	証券市場論	4	III・IV	石原教授		
	証券金融論	4	III・IV	青山教授		
	経営学原理	4	II	篠崎教授		
	経営学説史	4	III	高橋講師	{ (前期) 本学短期大学部助教	
	企業形態論	4	III	小田助教	(前期)	
	経営管理論	4	II	鶴野助教	(前期)	
	労務管理論	4	III・IV	林助教		
財務管理論	4	III・IV	井村講師	本学短期大学部講師		
1 科目	産業心理学	4	III・IV	和田(完)教授		
	国際企業論	4	III	高田講師	(後期)	
	経営史	4	III	榎本助教		
	簿記学	4	II	{ A 山本助教 B 松本助教		
	会计学	4	III	久野教授		
	国際会計論	4	III・IV	松本助教		
	管理会計	4	III・IV	中助教		
	原価計算	4	III	福島助教	(後期)	
	商	憲法	4	II	結城助教	(後期)
		行政法 I	4	III	秋山助教	

専 門 教 育 科 目	業 学 科 ・ 経 営 法 学 コ ー ス 科 目	財 産 法 I	4	II	{(前期)飯塚助教授 (後期)神田教授	(前期) 本学短期大学部講師 (後期)
		財 産 法 II	4	III	神田教授	
		民 事 訴 訟 法	4	III・IV	中島助教授	
		会 社 法	4	III	{(前期)青竹教授 (後期)野田講師	
		商 取 引 法	4	III・IV	浅木講師	
		有 価 証 券 法	4	III・IV	大塚講師	
		経 済 法	4	III	和田(健)助教授	
		経 済 刑 法	4	II・III	丸山助教授	
		労 働 法	4	III	島田助教授	
		環 境 法	4	III・IV	飯塚助教授	
		国 際 法 I	4	II	大谷教授	
		国 際 機 構 論	4	III	中村(恵)助教授	
		国 際 経 済 法	4	III・IV	清水助教授	
	国 際 取 引 法	4	III・IV	桑原助教授		
	管 理 科 学 科 目	管理科学通論	6	II	浅利講師	東海大学助教授
		管理科学 I	6	III	若林助教授	
		管理科学 II	6	III	樋口助教授	
		管理科学 III	6	III	{(前期)戸島教授 (後期)沼田教授	
		経営情報論	6	II・III	山田(一)教授	
機械化会計		6	III	山田(一)教授		
応用数学(代数)		6	II	{(前期)沼田教授 (後期)中村隆講師		
応用数学(解析)		6	II	中村(隆)講師		
応用数学(統計 I)		6	III	清水川助教授		
応用数学(統計 II)		6	III・IV	清水川助教授		
目	応用数学特講 II	3	III・IV	小林講師	{(前期) 元北海道大学教授	
	情報処理 I	6	II	{(前期)杉本助教授 (後期)若林助教授		
	情報処理	6	III・IV	杉本助教授		
	計算機論 II	6	III	戸島教授		
研 究 指 導	12	III・IV	備考参照			

教 職 科 目	教育原理	4	II・III	上野助教授	{(前期) 札幌大学名誉教授 本学短期大学部教授 (後期)
	商業科教育法	2	III・IV	横川講師	
	英語科教育法	3	III・IV	高嶋講師	
	道德教育の研究	2	III・IV	廣川講師	
	教育実習	2	III・IV	早見教授	
				石原教授	
				中助教授	
				中村(恵)助教授	
				中村(隆)講師	
	上野助教授				
下村助教授					
教育史	4	II・III	上野助教授	元北海道教育大学教授 北海道大学教授	
職業指導	4	III	石井講師		
英文学概論	4	II~IV	{(前期)永原教授 (後期)片山講師		
英文学演習 II	4	II~IV	君羅助教授		
英語学概論	4	III・IV	高橋助教授		
英語学演習 II	4	II~IV	浪田講師		
英会話・英作文	4	II~IV	Michael Carr		

備考  
★英語 I・II・III 担当教官名  
永原教授, 豊国教授  
君羅助教授, 下村助教授, 高橋(英)助教授  
マイケル・エドワード・カー 外国人教師  
〔非常勤講師〕  
片山講師(北海道大学教授), 下宮講師(武蔵女子短期大学助教授), 菊池講師(本学短期大学部教授), 高嶋講師(本学短期大学部教授), 浪田講師(北海道大学助教授), 大島講師(本学短期大学部助教授), 西村講師(小樽女子短期大学助教授), 鈴木講師(小樽女子短期大学助教授), 佐藤講師(小樽女子短期大学助教授), 宮町講師(小樽女子短期大学助教授), 根本講師(札幌医科大学衛生短期大学部助教授), 竹本講師(北海道大学助教授), 三好講師(札幌大学助教授)  
マッシュ・M・ハンレイ 外国人講師(北海道大学外国人教師), パメラ・ガリアーニ 外国人講師(北海道大学外国人教師)

★ドイツ語担当教官名

中川教授

大塚助教授

〔非常勤講師〕

加納講師(北海道大学助教授), 筑和講師(北海道大学助教授), 吉岡講師(北海道大学助教授), 副島講師(北海道大学講師)

ローレンツ・イエーガー外国人講師(北海道大学外国人教師)

★フランス語担当教官名

江口助教授, 高橋(純)助教授

〔非常勤講師〕

梶野講師(北海道大学教授)

大友講師(北海道大学助教授)

ブリュノ・デュボア外国人教師(北海学園大学非常勤講師)

★研究指導担当教官名

〔経済学科〕

井上教授, 長谷川教授, 早見教授, 久次教授, 吉武教授

鶴沢助教授, 遠藤助教授, 栗田助教授, 今助教授, 佐竹助教授, 本間助教授,

坪沼講師, 船津講師, 松井講師, 山本講師

〔商業学科・商学コース〕

石原教授, 久野教授, 篠崎教授, 和田(完)教授

鶴野助教授, 榎本助教授, 小田助教授, 中助教授, 林助教授, 福島助教授, 松本助教授, 森田助教授, 山本(真)助教授

青山講師

〔商業学科・経営コース〕

青竹教授, 秋山教授, 大谷教授, 神田教授

飯塚助教授, 桑原助教授, 島田助教授, 清水助教授, 中村(恵)助教授, 丸山助教授, 結城助教授, 和田(健)助教授

〔管理科学科〕

戸島教授, 沼田教授, 樋口教授, 山田(一)教授

清水川助教授, 杉本助教授, 若林助教授

中村(隆)講師

〔商業教員養成課程〕

永原教授

君羅助教授, 下村助教授

## 2 履 修 方 法

学生は4年間在学し, 次の事項に示された単位を修得することによって卒業資格が与えられる。

- (1) 単位修得については, 各入学年度および各自が所属している, または, 所属しようとする学科・課程によって異なるので, 十分注意すること。
- (2) 2-(I)は昭和60年度以降入学者, 2-(II)は昭和54年度～昭和59年度入学者, 2-(III)は昭和53年度入学者が適用される。また, 商業教員養成課程以外の学生で, 教員免許取得を希望する者は, 2-(IV)を参照のこと。
- (3) 英語(I・II・III)は, 1年次毎週4時間4単位, 2年次毎週4時間4単位, 3年次毎週2時間2単位, 合計10単位が必修である。
- (4) 英語以外の外国語(ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語)は, いずれか1か国語を選択必修とし, 1年次, 2年次とも毎週4時間4単位ずつ計8単位を履修しなければならない。
- (5) 保健体育科目の実技2単位については, 1年次毎週2時間2単位の $\frac{1}{3}$ , 2年次前期または後期に毎週2時間2単位の $\frac{1}{3}$ , 計2単位, 講義については, 2年次前期または後期に毎週2時間2単位がそれぞれ必修である。
- (6) 英文学史, 英文学概論, 英文学演習I, 英文学演習II, 言語学概論, 英語学概論, 英語学演習I, 英語学演習II, 英会話・英作文(本年度開講していない科目も含まれている)は高等学校教諭英語2級普通免許状取得のための授業科目であるが, 卒業所要単位に算入されていない科目として履修できる。
- (7) 研究指導は, 毎週3時間, 3年次から2か年継続授業で12単位(卒業論文を含む)である。なお, 履修方法は, 入学年度によって, 違いがあるので注意すること。

昭和53年度以前入学者にあっては、所属する学科・コース・課程の区分を問わず各自の志望する研究指導を自由に履修することができる。

昭和54年度以降入学者にあっては、原則として、所属する学科・コースの研究指導を履修するものとする。商業教員養成課程に所属する学生は、学科・コースの区分を問わず、各自の志望する研究指導を履修することができる。なお、昭和59年度実質3年次生からは、英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り、教科に関する専門科目（英語科）の研究指導を履修することができる（詳細については第12表を参照のこと）。

研究指導を履修しない学生（いわゆるノンゼミと称する学生）は研究指導分の12単位をそれぞれ所属する学科の専門教育科目の履修によって充足しなければならない。

また、商業教員養成課程に所属する学生にあっては、経済学科・商業学科（各コース）・管理科学科の専門教育科目によって充足しなければならない。

(8) 商業教員養成課程以外の学科に所属する学生で「高等学校2級普通免許状（商業・英語）」の取得を希望する者は、第15表（商業）、第16表（1）または（2）（英語）の単位をそれぞれ修得しなければならない。

また、「中学校教諭英語科1級」の免許状を希望する者は、第16表の（3）の単位を修得すること。ただし、管理科学科に所属する学生は「中学校教諭英語科1級」の免許状は取得できない。なお、これらの単位は卒業所要単位以外の単位である。

(9) 2年次から、いずれかの学科または課程に所属するが、1年次の終わりに、卒業所要単位数に算入される1年次配当科目のうちから16単位以上を修得していない場合は、(ア)学科または課程に所属することができない。

(イ) 2年次配当科目の履修はできない。(ウ) 卒業が1年以上延期される。また、この単位数を在学期間3年を経過しても修得できない場合は除籍になる。

なお、(9)については、昭和56年度入学生から適用される。

(10) 2年次終了までに、卒業所要単位数に算入される1・2年次配当科目のうちから55単位以上を修得していない場合は、(ア) 3・4年次配当科目の履修は認められない。(イ) 研究指導に所属できない。(ウ) 卒業が1年以上延期される。また、この単位を在学期間4年を経過しても修得できない場合は除籍になる（昭和55年度以前入学者については、この単位を在学期間6年を経過しても修得できない場合は除籍になる）。

この55単位の算入については下記のとおりなので、履修上注意すること。

記

科目	年度	昭和59年度生以前	昭和60年度生以降
一般教育科目		28単位まで算入	24単位まで算入
外国語科目		16単位 "	16単位 "
体育（実技・講義）		4単位 "	4単位 "
基礎教育科目		8単位 "	12単位 "
専門教育科目		2年次配当科目	2年次配当科目

ただし、専門教育科目については所属学科以外の科目について、28単位まで算入。また商業教員養成課程については専門科目の外に教職科目も算入する。

(11) 単位の互換制について

北海道大学経済学部で下記の授業科目を履修することが認められる。この場合の身分は北大の特別聴講学生となる。

(ア) 聴講出願対象者

学則に関する細則 1. 科目履修細則第5条に規定する〔1,2年次配当科目55単位以上〕単位数を修得した61年4月現在の4年次生。

(イ) 聴講科目

聴講科目	単位	担当教官	開講時期
世界経済論	4	佐々木	後期
経済学特殊講義X	2	牛山	後期
経済学特殊講義XII	2	今村	集中
企業行動論	4	小林	前期
産業技術論	4	吉田	後期
経営学特殊講義V	2	山口	集中

① 「世界経済論」、「経済学特殊講義X」、「経済学特殊講義XII」、「企業行動論」は本学の経済学科の専門科目、「産業技術論」、「経営学特殊講義V」は、本学の商業学科商学コースの専門科目として扱い、卒業単位数に算入する。

② 1科目につき、20名が限度。

(ウ) 聴講期間



聴講科目の開講時期で前期とあるのは、昭和61年4月～昭和61年9月、後期とあるのは昭和61年10月～昭和62年3月、集中とある科目のうち、経済学特殊講義Ⅻは昭和61年8月25日～昭和61年8月29日、経営学特殊講義Ⅴは昭和61年7月21日～昭和61年7月25日である。

(エ) 聴講料 不要。

(12) 教職関係科目について

次のとおり開講するので、履修計画においては注意のこと。

科 目 名	昭和61年度	昭和62年度
教 育 原 理	○	×
教 育 心 理 学	×	○
商 業 科 教 育 法	○	×
英 語 科 教 育 法	○	×
道 徳 教 育 の 研 究	○	×
教 育 史	○	○
職 業 指 導	○	○

○印 = 開講, ×印 = 非開講

2-(I) 昭和60年度以降入学者

イ 一般教育科目、外国語科目、保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第1表 経済学科・商業学科・管理科学科および商業教員養成課程

区 分	単位数	備 考
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上
	計	24 6科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか 1科目
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技
基礎教育科目	12	3科目以上
合 計	58	

(注) 1. 一般教育科目(人文科学系)のうち、外国文学の単位については、そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。

2. 基礎教育科目については、経済学科にあつては経済学概論を、商業学科(商学コース)にあつては商学概論を、商業学科(経営法学コース)にあつては法学概論(日本国憲法2単位を含む)を、管理科学科にあつては管理科学概論を、商業教員養成課程にあつては法学概論(日本国憲法2単位を含む)を含め3科目以上履修するものとする。

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲学 4	社会科学概論 4	物理学 4	経済学概論 4
倫理学 4	社会学 4	自然科学概論 4	商学概論 4
心理学 4	社会思想史 4	化学 4	法学概論 4
歴史学 4	教育学 4	生物学 4	(日本国憲法 2単位を含む) 管理科学概論 4
日本文学 4	政治学 4		数学 4
英文学 4			
ドイツ文学 4			
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
1科目4単位以上	1科目4単位以上	1科目4単位以上	3科目12単位以上
6科目24単位以上			

□ 専門教育科目の履修方法  
第2表 経済学科

区 分	単位数	内 容
経済学科科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経済原論Ⅱ, 財政学, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 商学コース科目 経営法学コース科目 管理科学科科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに経営学原理, 会計学, 管理科学通論, 応用数学(代数), 情報処理Ⅰ, 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 商取引法のうちいずれか2科目を含める。
研究指導		12
計		76
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は, 原則として経済学科の研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

第3表 商業学科・商学コース

区 分	単位数	内 容
商業学科 商学コース科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに流通組織論, 証券市場論, 経営学原理, 経営史, 経営管理論, 簿記学, 会計学, 原価計算論のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 経営 法学コース科目 経済学科科目 管理科学科科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経済史概論, 経済政策, 国際経済論, 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 商取引法, 国際経済法, 管理科学通論, 会計情報論のうちいずれか2科目を含める。
研究指導		12
計		76
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は, 原則として商学コースの研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は, 商学コースの科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

第4表 商業学科・経営法学コース

区 分	単位数	内 容
商業学科 経営 法学コース科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに、憲法、財産法Ⅰ、財産法Ⅱ、会社法、経済法、経済刑法、労働法、国際法Ⅰのうちいずれか4科目を含める。
商業学科 商学コース科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに流通組織論、証券市場論、経営学原理、経営管理論、労務管理論、会計学、経済原論Ⅰ、経済史概論、経済政策、国際経済論のうち、いずれか2科目を含める。
経済学科科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は、原則として経営法学コースの研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は、経営法学コースの科目についてさらに12単位を履修しなければならない。		

※ 昭和55年4月1日の学則改正により、40単位のなかに「経済刑法」を追加したものである。

第5表 管理科学科

区 分	単位数	内 容
管理科学科科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに管理科学通論、管理科学Ⅰ、管理科学Ⅱ、管理科学Ⅲ、会計情報論、応用数学(代数)、応用数学(解析)、情報処理Ⅰのうちいずれか4科目を含める。
経済学科科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学、経済原論Ⅰ、経営学原理、会計学、財産法Ⅰのうちいずれか1科目を含める。
商業学科 商学コース科目 経営法学コース科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は、原則として管理科学科の研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は、管理科学科の科目について、さらに12単位を履修しなければならない。		

第6表 商業教員養成課程

区 分	単位数	内 容
専門教育科目 経済学科、商業 学科(商学コース、 経営法学コースを含む)、 管理科学科の全 科目	44	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 44単位のなかに経済原論Ⅰ、統計学、流通組織論、証券市場論、経営学原理、経営管理論、簿記学、会計学、情報処理Ⅰ、経営情報論、財産法Ⅰ、会社法のうちいずれか6科目(24単位)以上を含める。
教職科目	20	教育原理、教育心理学、商業科教育法、教育史、教育実習、職業指導を必修とする。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 商業教員養成課程に所属する学生は、他の学科・コースの研究指導を履修することができる。 2. 商業教員養成課程に所属する学生で、英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り、教科に関する専門科目(英語科)の研究指導を履修することができる。 3. 研究指導を履修しない者は、経済学科、商業学科、管理科学科の各科目から、さらに12単位を履修しなければならない。		

2-(II) 昭和54年度～昭和59年度入学者

※授業科目の履修にあたっては、2-(V)昭和59年度以前入学者の履修上の注意事項も参照すること。

イ 一般教育科目、外国語科目、保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第7表 経済学科・商業学科・管理科学科および商業教員養成課程

区分	単位数	備考
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上
	計	28 7科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか1科目
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技
基礎教育科目	8	2科目以上 {商業教員養成課程にあつては法学概論(日本国憲法2単位を含む)
合計	58	

(注) 一般教育科目(人文科学系)のうち、外国文学の単位については、そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲学 4	社会科学概論 4	物理学 4	経済学概論 4
倫理学 4	社会学 4	自然科学概論 4	商学概論 4
心理学 4	社会思想史 4	化学 4	法学概論 4
歴史学 4	教育学 4	生物学 4	(日本国憲法) 2単位を含む
日本文学 4	政治学 4		管理科学概論 4
英文学 4			数学 4
ドイツ文学 4			
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
1科目4単位以上	1科目4単位以上	1科目4単位以上	2科目8単位以上
7科目28単位以上			

ロ 専門教育科目の履修方法

第8表 経済学科

区分	単位数	内容
経済学科科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに統計学, 経済原論I, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 商学コース科目 経営法学コース科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに経営学原理, 会計学, 管理科学通論, 応用数学(代数), 財産法I, 財産法II, 会社法, 商取引法のうちいずれか2科目を含める。
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 研究指導を履修する者は、原則として経済学科の研究指導を履修するものとする。  
2. 研究指導を履修しない者は、経済学科の科目について、さらに12単位を履修しなければならない。

第9表 商業学科・商学コース

区分	単位数	内容
商業学科 商学コース科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに流通組織論, 証券市場論, 経営学原理, 経営史, 経営管理論, 簿記学, 会計学, 原価計算のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 経営法学コース科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学, 経済原論I, 経済史概論, 経済政策, 国際経済論, 財産法I, 財産法II, 会社法, 商取引法, 国際経済法, 管理科学通論, 機械化会計のうちいずれか2科目を含める。
経済学科科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 研究指導を履修する者は、原則として商学コースの研究指導を履修するものとする。  
2. 研究指導を履修しない者は、商学コースの科目について、さらに12単位を履修しなければならない。

第10表 商業学科・経営法学コース

区 分	単位数	内 容
商業学科 経営 法学コース科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに、憲法、財産法Ⅰ、財産法Ⅱ、会社法、経済法、経済刑法、労働法、国際法のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 商業コース科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに流通組織論、証券市場論、経営学原理、経営管理論、労務管理論、会計学、経済原論Ⅰ、経済史概論、経済政策、国際経済論のうち、いずれか2科目を含める。
経済学科科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は、原則として経営法学コースの研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は、経営法学コースの科目についてさらに12単位を履修しなければならない。		

※ 昭和55年4月1日の学則改正により、40単位のなかに「経済刑法」を追加したものである。

第11表 管理科学科

区 分	単位数	内 容
管理科学科科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに管理科学通論、管理科学Ⅰ、管理科学Ⅱ、管理科学Ⅲ、機械化会計、応用数学(代数)、応用数学(解析)、計算機論Ⅰのうちいずれか4科目を含める。
経済学科科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学、経済原論Ⅰ、経営学原理、会計学、財産法Ⅰのうちいずれか1科目を含める。
商業学科 商業コース科目 経営法学コース科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は、原則として管理科学科の研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は、管理科学科の科目について、さらに12単位を履修しなければならない。		

第12表 商業教員養成課程

区 分	単位数	内 容
専門教育科目 経済学科、商業 学科(商学コース、 経営法学コースを含む)、 管理科学科の全 科目	44	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 44単位のなかに経済原論Ⅰ、統計学、流通組織論、証券市場論、経営学原理、経営管理論、簿記学、会計学、計算機論Ⅰ、事務機械化、財産法Ⅰ、会社法のうちいずれか6科目(24単位)以上含める。
教 職 科 目	20	教育原理、教育心理学、商業科教育法、教育史、教育実習、職業指導を必修とする。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 商業教員養成課程に所属する学生は、他の学科・コースの研究指導を履修することができる。 2. 商業教員養成課程に所属する学生で、英語の教育職員免許状を取得しようとする者に限り、教科に関する専門科目(英語科)の研究指導を履修することができる。 3. 研究指導を履修しない者は、経済学科、商業学科、管理科学科の各科目から、さらに12単位を履修しなければならない。		

2-(Ⅲ) 昭和53年度入学者

※ 授業科目の履修にあたっては、2-(Ⅴ)昭和59年度以前入学者の履修上の注意事項も参照すること。

イ 一般教育科目,外国語科目,保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第13表 経済学科

区分	単位数	内 容
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上
	計	28 7科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか1科目
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技
基礎教育科目	8	2科目以上
合計	58	
(注) 一般教育科目(人文科学系)のうち, 外国文学の単位については, そのいずれか1科目のみを卒業所要単位数に算入する。		

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系		社会科学系		自然科学系		基礎教育科目	
授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
哲学	4	社会科学概論	4	物理学	4	経済学概論	4
倫理学	4	社会学	4	自然科学概論	4	商学概論	4
心理学	4	社会思想史	4	化学	4	法学概論	4
歴史学	4	教育学	4	生物学	4	(日本国憲法 2単位を含む) 管理科学概論	4
日本文学	4	政治学	4			数学	4
英文学	4						
ドイツ文学	4						
フランス文学	4						
中国文学	4						
ロシア文学	4						
1科目4単位以上		1科目4単位以上		1科目4単位以上		2科目8単位以上	
7科目28単位以上							

□ 専門教育科目の履修方法

第14表 経済学科

区分	単位数	内 容
経済学科科目	36	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 36単位のなかに統計学, 経済原論I, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうち, いずれか3科目を含める。
商業学科 商学コース科目 商業学科 経営 法学コース科目 管理科学科目	28	1. 「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 28単位のなかに経営学原理, 会計学, 応用数学(代数), 応用数学(解析), 財産法I, 財産法II, 会社法, 商取引法のうちいずれか2科目を含める。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

2-(IV) 教員免許取得希望者の単位修得方法

第15表 商業教員免許取得希望者の単位修得方法

区分	単位数	必修科目	選択科目
基礎教育科目	4	法学概論 (日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する専門科目	16	教育原理, 教育心理学, 商業科教育法, 教育実習, 教育史	
教科に関する専門科目	4	職業指導	
	16		統計学, 経済原論 I, 流通組織論, 商品学, 証券市場論, 経営学原理, 企業形態論, 簿記学, 会計学, 経営情報論, 情報処理 I, 財産法 I, 会社法 (4科目選択)
合計	40		
備考	この表は商業教員養成課程以外の学科に所属する学生に適用するもので, それぞれの学科の卒業所要単位のほかに上記の単位数を修得しなければならない。ただし, 基礎教育科目の法学概論及び教科に関する専門科目の選択科目については, それぞれの学科の卒業所要単位と併用できる。		

第16表 英語科教員免許取得希望者の単位修得方法

(1) 高等学校教諭の場合 (昭和56年度以降入学生)

区分	単位数	必修科目	選択必修科目
基礎教育科目	4	法学概論 (日本国憲法2単位を含む)	
教職に関する専門科目	17	教育史 4 教育心理学 4 教育原理 4 英語科教育法 3 教育実習 2	
教科に関する専門科目	32	英語学関係 8	☆英語学概論 4 ☆言語学概論 4 英語学演習 I 4 英語学演習 II 4
		英文学関係 8	☆英文学史 4 ☆英文学概論 4 英文学演習 I 4 英文学演習 II 4
		英会話・英作文 4	
合計	53		商業英語 4 研究指導 12
備考	<p>1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし, 商業教員養成課程の学生は, 教科に関する専門科目の単位数と, 教職に関する専門科目のうち英語科教育法を修得すればよい。</p> <p>2. 選択必修科目のうち☆印は各領域から一科目必修。</p> <p>3. 「商業英語」は「英会話・英作文」又は「演習科目」と読み替えることができる。</p> <p>4. 「研究指導」は商業教員養成課程に所属する学生のみ履修できる。修得単位は英語学又は英文学の単位として換算する。</p> <p>5. 教職に関する専門科目のうち「教育原理」「教育心理学」「教育実習」「教育史」は, 17表, 18表両方の場合に併用できる。</p>		

(2) 高等学校教諭の場合 (昭和55年度以前入学生)

区分	単位数	必修科目	選択科目
基礎教育科目	4	法学概論 (日本国憲法2単位を含む)	
教科に関する専門科目	32	英文学史 4 英文学概論 4 言語学概論 4 英語学概論 4	商業英語 4 英文学演習Ⅰ 4 英文学演習Ⅱ 4 英語学演習Ⅰ 4 英語学演習Ⅱ 4
教職に関する専門科目	17	教育原理, 教育心理学, 英語科教育法, 教育実習, 教育史	
合計	53		

備考

- それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし、商業教員養成課程の学生は、教科に関する専門科目の単位数と、教職に関する専門科目のうち英語科教育法を修得すればよい。
- 教職に関する専門科目のうち「教育原理」「教育心理学」「教育実習」「教育史」は、17表、18表両方の場合に併用できる。

(3) 中学校教諭の場合

上記(1)(2)の「教職に関する専門科目」のほか、さらに「道徳教育の研究」2単位を修得すれば、管理科学科所属の学生を除いて中学校教諭英語科一級普通免許状をも取得できる。

2-(V) 昭和59年度以前入学者の履修上の注意事項

- 次表の適用入学年度生において、B欄に掲げている授業科目を履修し、単位を修得した場合は、A欄に掲げている授業科目の単位を修得したことになります。
- 次表のA欄に掲げている授業科目の単位をすでに修得済の者は、B欄に掲げている授業科目を履修することはできません。

適用入学年度	A 欄	B 欄	
昭和52年度以前	法学	法学概論	
	マーケティング	流通組織論	
	販売管理	マーケティング	
	生産管理	経営管理論	
	民法Ⅰ	財産法Ⅰ	
	民法Ⅱ	財産法Ⅱ	
	商法Ⅰ	会社法	
	商法Ⅱ	商取引法	
	昭和53年度以前	英文学Ⅰ	英文学史
		英文学Ⅱ	英文学概論
		英語(上級Ⅱ)	英文学演習Ⅰ
		英語(上級Ⅳ)	英文学演習Ⅱ
		英語学Ⅰ	言語学概論
		英語学Ⅱ	英語学概論
英語(上級Ⅰ)		英語学演習Ⅰ	
英語(上級Ⅲ)		英語学演習Ⅱ	
行政法		行政法Ⅰ	
国際法		国際法Ⅰ	
国際資源論		国際法Ⅱ	
銀行論		金融政策	
管理会計		管理会計論	
原価計算		原価計算論	
経営分析	経営分析論		
外国語特殊講義	外国人特殊講義		
機械化会計	会計情報論		
事務機械化	経営情報論		
応用数学特講Ⅰ	応用数学特講		
昭和55年度以前	計算機論Ⅰ	情報処理Ⅰ	
	情報処理	情報処理Ⅱ	
	計算機論Ⅱ	情報処理Ⅲ	
	経済変動論	経済原論Ⅱ	
	経済原論Ⅱ	経済原論Ⅲ	
	昭和58年度以前		
昭和59年度以前			



### 3 科目試験の受験について

定期試験（前期，後期）およびこれに準ずる試験を受験する場合，次の注意事項を厳守して，不利益をうけることのないよう十分留意してください。

#### ★受験に際しての注意事項

1. 指定された席に着席すること。（試験開始5分前には着席していること）  
随時行う試験では席を指定しないこともある。
2. 身分証明書の携帯がなければ受験できない。（座席の右前方におくこと）
3. 試験時刻に遅れた者は原則として受験できない。ただし，20分以内の遅刻者は，事情により監督者の許可を受けて受験できる場合もある。
4. 試験開始20分以内は退場できない。
5. 試験終了前10分以後は退場できない。
6. 教科書，参考書，ノートなどの不要の所持品は鞆等に納め，これらをむき出しのまま机の中に入れてはいけないこと。
7. 教科書，参考書，ノートなどの参照を許された試験においては，それらの貸借をしてはならない。受験生の間で，貸借のあった場合は，それを不正行為とみなす。
8. 試験において，私語，その他不正行為の疑惑を招くような行為のないよう特に留意すること。
9. 試験中の不正行為については，学則に照し厳重に処分されるから厳正な態度で受験すること。さらに，不正行為を行った者に対しては，その学期に履修した科目の総ての単位は認定しない。従って，在学期間が1年以上延期することになる。
10. 配布された答案用紙は必ず提出し，これを持ち帰ってはならない。
11. その他試験場内において監督者の指示に従わない場合は退場させられる。

## II 教授要目

### 1 一般教育科目

#### 哲 学 教授 渡 辺 祐 邦

ヨーロッパ哲学史の重要な著作を読みながら，単にある学説を教条的に暗記するのではなく，現代の状況の中で過去の思想的遺産をどう発展させたいかを考えます。今年度は弁証法的思考の原型というべきヘーゲルの著作をテキストとしますが，以上のほかに，二年目以上のドイツ語またはフランス語既修者に対しては，文献研究を中心とするグループを設けます。その具体的方法は最初の講義のときに説明します。

講義用テキスト：

ヘーゲル「小論理学」上，下，村松一人訳，岩波文庫

（文献研究のテキストは，のちほど本人に直接さしあげます。）

#### 倫 理 学 教授 渡 辺 祐 邦

「共同存在」としての人間の存在論的構造に関するヨーロッパ倫理学の古典的著作を読みながら，現代における生と実存の意味について考察します。今年度は，昨年度にひきつづきアリストテレスの『政治学』をテキストとして取り上げますが，邦訳とともにギリシア語の原文を併用するので，ギリシア語文法に関する簡単な学習を当初に行います。

テキスト：

10 アリストテレス『政治学』，山本光雄訳，岩波文庫

11 田中美知太郎・松平千秋『ギリシア語入門』岩波全書

（アリストテレスの原文テキストは，ギリシア語の学習が充分行われたと判定される人にものみ，のちほど直接さしあげます。）

#### 心 理 学 教授 和 田 完

現代心理学の特質を，歴史的な成立の過程を通して検討する。行動主義的

な方法の導入、力動的な考え方などが特に強調されよう。また、動機づけ、学習実験、認知、ことに知覚の問題、パーソナリティ論等が話題とされる。なお、精神病理学、文化人類学等の隣接領域について、しばしば触れるであろう。

教科書：和田完他著『人間行動の諸相』明玄書房

## 歴史学 A・B

教授 栗生沢 猛 夫

A) 講義形式をとる。本年度は歴史学界における一つの新しい潮流について考えてみる。最近「新しい歴史学」を自認するフランスの「アナール派」の諸著作の翻訳、紹介が相ついでいる。L. フェーブルやM. ブロックについては我が国でも比較的早くから知られていたが、他の代表者たちについてもこのところよく知られるようになった。たとえば主なものをひろってみても、F. ブローデル(村上光彦訳)『物質文明・経済・資本主義、15—18世紀』(第1巻「日常性の構造」1, みすず書房), E. ル. ロワ. ラデュリ(樺山紘一也訳)『新しい歴史』(新評論), 福井憲彦編『歴史のメトロロジー』(新評論), M. フェロー(井上幸治監修, 大野一道訳)『新しい世界史』(新評論), Y. M. ベルセ(井上幸治監訳)『祭りと叛乱』(新評論), M. セガレーヌ(片岡幸彦監訳)『妻と夫の社会史』(新評論)がそうであり、さらに叢書『歴史を拓く』(「アナール論文選」, 新評論)も出ている。F. アリエス(『<子供>の誕生』, 『死と歴史』, 『日曜歴史家』すべてみすず書房)なども加えてもよいかもしれない。歴史をこれまでの狭い個別的領域の枠から解放し、対象の全体的把握を志向するこの学派のもつ意義は何か。日本でもますます盛んになりつつある「社会史」研究、また「歴史人類学」研究等の動向にも注意を払いつつ、歴史学の可能性について学んで行きたい。定期試験以外にレポートの提出を求める。

B) 次の文献を読みます。C. E. Black et al. The Modernization of Japan and Russia. A Comparative Study, The Free Press, NY. 1975 pp. 386 ロシアと日本の近代化を比較したものです。「近代化」論のもつ問題性に留意しつつ読んで行きたいと思えます。ねばり強く読む人々の参加を期待します。希望者は最初の時間に説明(テキストについて、進め方について)しますので、必ず出席して下さい。

## 日本文学 A・B

教授 村山 出

詳しくは最初の講義の時間に説明しますが、AとBは授業の性格が違いますので、十分に考えた上で選択して下さい。履修を決定した後の、選択の変更は認められませんので、注意して下さい。

A(ゼミ形式のクラス) 本年度は万葉歌の作者別・地域別の検討を中心とし、後期には歌の背景となった地域を実際に旅行して、最終的にレポートをまとめてもらいます。

旅行は前年度にAの単位を修得した人も参加できます。

B(講義形式のクラス) 本年度、万葉歌の発想や代表的な歌人について考察する予定です。試験・レポートについては、その都度指示します。

教科書：A・Bとも同じ。

伊藤 博校注『万葉集』上・下(角川文庫)2冊

参考書：A・Bとも必要に応じて紹介します。

## ドイツ文学(後期)

教授 中川 勇 治

ドイツ文学における近代小説の成立と発展をテーマにして、いくつかの代表的な作品をヨーロッパ文学全体の歴史的な展開と関連させながら解説します。参考文献は、必要に応じて講義の中で指示します。聴講される諸君は、翻訳でもかまいませんが、作品を自ら読まれるよう要望します。

## ロシア文学

教授 松本 忠 司

講義の内容は、大きく二つの部門に分けられる。

(I) 第一の部門は、ロシア文学の成立と展開をめぐる諸題を、インテリゲンツィヤ精神史の観点から考察する。

(1)インテリゲンツィヤの成立とその背景 (2)批判的リアリズムの成立とその発展(プーシキンとゴーゴリを中心に) (3)農奴解放期の文学(ツルゲーネフ, トルストイ, ドストエーフスキイを中心に) (4)世紀末の文学(チャーホフを中心に)

(II) 第二の部門は、(I)の理解の上に立って、マクシム・ゴーリキイと19世紀末ないし20世紀初頭のロシア文学の諸問題を取り扱い、ゴーリキイの生涯と文学創造を中心的に検討しながら、文学と人間・時代・社会のかかわり

な方法を研究していく。

受講者に対して、ロシア語の知識は要求しないが、ルネッサンス以降の世界史の歩みの大筋についての理解を用意して講義に臨んでほしい。また、テキストは使用しないので、この講義専用のノート・ブックを用意すること。参考文献については随時、講義のなかで示すが、さしあたり(I)の部門の文学史的流れに関して、金子幸彦著「ロシア文学案内」(岩波文庫)、作家論として、草鹿・松本ほか著「ロシア文学の世界」(文化書房博文社、改訂版)、(II)については松本忠司著「ゴーリキイ研究I作家への道」(理想社)、同編訳「ゴーリキイ文芸書簡」[全2巻](光和堂)、ビャーリク著、山村房次訳「ゴーリキイの運命」(新日本出版社)をあげておく。

**社会科学概論(夏季集中)** 非常勤講師 和田春樹  
(東京大学教授)

**社会学** 非常勤講師 安田尚  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

本年度の講義は、現代社会学に大きな影響を与え続けているエミール・デュルケームの学説を紹介し、その現代的意義を検討します。構成は以下の通りで行なう予定です。

- 一、時代と生涯。
- 二、方法論の確立。
- 三、『自殺論』の検討。
- 四、デュルケーム社会学の現代的意義。

テキスト：デュルケーム(宮島喬訳)、『自殺論』、中公文庫、680円。

**社会思想史A・B** 教授 倉田稔

A・B、の2クラスに分かれているが、どちらを取ってもよい。

一方は、大クラスで、講義を行う。他方は、小クラスで、参加者の自由テーマによる研究発表の場とし、学術小論文を書いて載く。最低何回かの充実した発表が必要となる。

大クラスの講義は、内容・すすめ方が毎年違っている。今年は、2つの部分講義をしてから、近代以降の講義をはじめ。フランシス・ベーコンから

新しい時代にむかって進むつもりであるが、時間のなさのため、現代にまで来られないこともありうる。今年は、各単元の終りに質問を寄せて頂こうと考えている。最後に、学術小論文を提出していただく。教科書は使わない。

**政治学** 非常勤講師 田口晃  
(北海道大学助教授)

職業政治家ではない一般市民の立場から政治を検討して行く。つまり、一方では職業政治家の行動を観察し、かつ監視する方法を学び、他方では市民が関与し、活動しうる場をどのようにして作っていくか、を考えることが、本講義の中心課題となる。尚、できる丈早く講義要綱を配布する。

教科書は用いないが、次の二著を参考にするとよい。

篠原一・永井陽之助編『現代政治学入門』(第二版)有斐閣

J・A・A・ストックウィン『現代日本の政治変動』木鐸社

**物理学** 教授 原田稔

現代物理学の大きな基礎の一つである量子論についての初等的な解説をジョージ・ガモフ著「現代の物理学—量子論物語」(河出書房新社)にそって行う予定。

**化学** 非常勤講師 木村雅男  
(北海道大学名誉教授)

化学という学問をできる限り系統的に理解し、身近な現象としてとらえて行くことを期待している。そのために、比較的理解し易い分野について、現代化学のトピックスを取り上げ、その基礎原理と現状について話す。

教科書

文科系学生の

- 化学 大学化学教育研究会編 裳華房
- (前期) 物質の構成と物性、化学反応の原理と身近な現象。  
(高校化学のより深い理解と化学基礎原理の把握)
- (後期) 現代生活の化学、生体関連物質の化学、その他。

## 生物学A・B

教授 山田家正

生物学はAとBの2クラスに分けて行うが、内容が異なるので途中から変更できない。下記をよく読んでから履修届を出すこと。

**生物学A**：講義中心の大人数クラス。前期は主として生態学的分野に題材を求め、基礎的研究が我々の生活とどの様に関わってくるのかを具体的に示してみたい。後期は進化に焦点をあてる。地球誕生以来の生命の流れを分子レベルから個体レベルまでの題材によって話をすすめる。教科書は使用しない。プリント配布などで資料を提供する。

**生物学B**：演習中心の少人数クラス。人数はクラスの性質上5名程度を考えているが希望者多数の場合もあるので最初の講義時に具体的な内容を相談して決める。いずれにしても積極的に学ぶ姿勢が要求される。

**臨海実習**：9月上旬、ウニの受精と発生の観察を北海道大学臨海実験所(小樽市忍路町)で行う予定。A・Bとも原則として全員参加。この実習のガイダンスは夏休み前に行う。但し再履修者で既に実習を終了しレポートも提出した者は参加する必要はないが、事前にその旨申し出ること。

## 2 外国語科目

### 英語

#### (A) 英語履修方法

- (1) 英語の授業は、教室内における2時間の講義に対し、教室外における1時間の学習を必要とするものとし、毎週2時間通年30週の講義をもって2単位とする。(学則第12条の2参照)
- (2) 英語(I・II・III)は1年次毎週4時間4単位、2年次毎週4時間4単位、3年次毎週2時間2単位、合計10単位が必修となる。(学則第10条および第11条別表第1の(2)参照)
- (3) 昭和61年度の英語クラス配置および教科の種別は別表の通りである。
- (4) 別表のうち、Eではじまる3ケタの数字はクラス別をあらわす記号である。3ケタ目の1,2,3は履修基準年次で、2ケタ目は教科の種別を示している。0は文学作品の講読、1は評論、伝記、語学書等の文学作品以外の講読で、2は会話作文等、3は文法である。1ケタ目の1,2,3……はクラス別を示す。
- (5) 基準年次に配当されているクラスの選択は自由である。しかし、英語Iは別表A群より2単位、B群より2単位、合計4単位を選択履修し、英語IIは講読2単位と他クラスの講読か会話、作文等のうちいずれか2単位合計4単位、英語IIIは講読2単位を選択履修すること。  
なお、同一年次配当の同一教官担当のクラスを2つ履修することは出来ない。
- (6) 履修する学生は教授要目をよく読み、最初の授業に出席した上で自主的にクラスを選択すること。
- (7) 履修登録の手続きは、希望するクラス名をカードに書き込み、学生課教務係の窓口へ提出すること。詳細について別途指示する(学生課の掲示に注意)。なお、当然のことながら、学生部長へ提出する「履修届」には、この登録の結果を記入すること。

(B) 別表(昭和61年度英語クラス)

英語 I - A 群			英語 II			英語 III		
講 読 及 び 文 法	文学 作品	E 101 永原 E 102 豊国 E 103 豊国 E 104 君羅 E 105 { (前期)片山 (後期)永原	講 読	文学 作品	E 201 永原 E 202 豊国 E 203 豊国 E 204 君羅 E 205 三好 E 206 三好 E 207 片山 E 208 西村 E 209 佐藤	講 読	文学 作品	E 301 永原 E 302 豊国 E 303 君羅 E 304 菊池 E 305 西村
	評論・伝記・語学書等	E 111 下村 E 112 高橋 E 113 大島 E 114 宮町 E 115 宮町		評論・伝記・語学書等	E 211 下村 E 212 高橋 E 213 鈴木 E 214 鈴木 E 215 鈴木 E 216 根本 E 217 根本		評論・伝記・語学書等	E 311 下村 E 312 高橋 E 313 高島 E 314 高田 E 315 浪宮
英語 I - B 群								
講 読	文学・評論	E 106 竹本 E 107 竹本 E 108 佐藤						
	会話 ・ 作文	E 121 Carr E 122 Carr E 123 Carr E 124 Carr E 125 Hanley E 126 Hanley E 127 Hanley E 128 Gagliani E 129 Gagliani	会話 ・ 作文	E 221 Carr E 222 Carr E 223 Gagliani				
	文法	E 131 下村						

## 英語 I

〔英語共通試験実施要領〕

英語 I - A 群クラスの履修と単位認定について

- 英語 I は A 群から 1 クラス 2 単位, B 群から 1 クラス 2 単位, 合計 2 クラス 4 単位を選択履修すること。
- 英語 I - A 群クラスの履修者には課外テキストを指定し, 年 2 回共通試験を行う。
- 共通試験は前期及び後期の各定期試験期間中に行う。前期及び後期の共通試験は両方とも受験しなければならない。
- 英語 I - A 群の各クラスの単位は, クラスの成績と共通試験の成績とにより, クラス担当教官が認定する。
- 課外テキスト  
小川芳男・上野伊栄太著『高等英文法』有精堂  
ただし, 前期は前半 p. 175 までとし, 後期は p. 176 以降とする。
- 昭和 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60 年度生のうち, 英語 I の単位未修得者の履修方法は昭和 61 年度生の履修方法に準ずる。昭和 60 年度以前の学生のうち, 英語 I の単位未修得者は, I - A 群のクラスにかえて E 131 を選択することができる。ただし, I - A 群のクラスを選択する場合は, 必ず共通試験を受験しなければならない。

## A 群

- E 101 教授 永原 和夫  
Ernest Hemingway: *The Killers & Other Stories* (南雲堂 ¥ 940)  
Ernest Hemingway: *The Old Man and the Sea* (南雲堂 ¥ 980)  
Hemingway の短編と中編小説を読む。どのような理由があっても 2/3 以上出席しない者は受験資格を失なう。
- E 102 } 教授 豊国 孝  
○ E 103 }
- W. Faulkner: *New Orleans Sketches* (北星堂) ¥ 850  
Faulkner の短編小説を読む。2/3 以上出席しない者は受験資格を失なう。

◦ E 104 助教授 君 羅 久 則

Muriel Spark, *The Go-Away Bird*. (朝日出版)

Muriel Spark, *The Voices at Play*. (松柏社)

◦ E 105 (前期) 非常勤講師 片 山 厚  
(北海道大学教授)

使用テキスト: Irwin Shaw, *Whisper in Bedlam* (篠崎書林)

著者は1913年生まれのアメリカの劇作家・小説家で、第二次大戦を舞台にする『若き獅子たち』で有名。本書は特殊な能力を身につけたアメリカン・フットボールの選手の話。

◦ E 105 (後期) 教授 永 原 和 夫

Ernest Hemingway: *The Old Man and the Sea*

Hemingway の最晩年の傑作を読む。どのような理由があっても $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失なう。

◦ E 111 助教授 下 村 五三夫

Textbook: *First Steps to Linguistics* by Sheila Chevallier

Textbook: Sheila Chevallier 著 *First Steps to Linguistics* を講読します。N.Chomsky によって提唱された変形生成文法の視点より書かれた言語学の入門書です。三修社 ¥ 880.

◦ E 112 助教授 高 橋 英 光

Edwin O. Reischauer: *The Japanese* (成美堂)

$\frac{2}{3}$ 以上の出席のない者は受験資格を失なう。遅刻は欠席扱いとする。代表的な日本研究者の一人であるライシャワー氏による日本人論を読む。

◦ E 113 非常勤講師 大 島 稔  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

① P. McLean: *Foreign Eyes on Japan*. Asahi Press.

② A.J. Pinnington: *Inside Out—English Education and Japanese*

*Culture. Sansyusya.*

前期教科書として①を使う。①は、アメリカ、イギリス、オーストラリア、スイス、フランス、ドイツ出身の在日外国人による日本及び日本人に関するエッセイである。後期教科書は、②を使う。②は、イギリス人英語教師のイギリスとの比較考察による日本文化論である。

日本人にとって身近な話題を読む中で、日本の風土、習慣などが英語でどのように表現しているかに注意して行きたい。

授業の具体的な進め方は、1) 段落毎の要約、2) 章毎の大意、3) 語法・文法の細部にわたる確認、という順である。

◦ E 114 非常勤講師 宮 町 誠 一  
(小樽女子短期大学助教授)

テキスト: *English across Cultures* by W. Lawrence Dutton (南雲堂)

◦ E 115

テキスト: *Focus on America and Japan* by Paul McLean (弓書房)

B 群

◦ E 106 }  
◦ E 107 }

非常勤講師 竹 本 幸 博  
(北海道大学助教授)

テキスト: *Newsweek, Time*

両誌とも西側の代表的報道週刊誌であり、世界中の政治家、実業家を含む広範な人々に読まれている。英文は明晰、ムダがなく、読みやすい(慣れれば)。年間4~5冊(一冊300円位)を消化の予定。

◦ E 108 非常勤講師 佐 藤 幸 子  
(小樽女子短期大学助教授)

W.S. Maugham: *Ashenden* 金星堂, ¥ 720

本作品はW.S. Maugham が第一次大戦中に英国情報部の一員として働いた経験をもとにして、作られた作品である。“R”, “Giulia Lazzari”, “Traitor” の3編がおさめられている。多読を旨とするので予習をおこたらぬこと。出席を重視する。

E 121 }  
E 122 }  
◦ E 123 } 外国人教師 Michael Carr  
E 124 }

Abbs & Freebairn: *Building Strategies* Longman

This course will emphasize functional communication in English. Attendance and participation in the classroom and the language laboratory will be required. More than three unexcused absences will automatically result in failure.

E 125 }  
◦ E 126 } 非常勤講師 Matthew M. Hanley  
E 127 } (北海道大学外国人教師)

Text: Abbs & Freebairn: *Building Strategies*, Longmann

This course will develop your ability to speak and listen to English. You will practice speaking English in a variety of situations presented in the text and in material which I will provide. All students will complete a 15-week pronunciation course. You will practice listening to English in the language laboratory. Requirements are completion of weekly homework assignments, presentation of a major speech, class participation, attendance, and satisfactory grades on the mid-term and final examinations.

◦ E 128 非常勤講師 Pamela Gagliani  
(北海道大学外国人教師)

Text Book: *Notions in English* by Leo Jones, Cambridge U. P.  
The aim of this course is to encourage students to *communicate* in English. Language will be practised in a variety of situations. We will also have many group activities and games and during the latter part of the course will use video.

Grades will be based on attendance (not more than 5 absences), class participation and the results of the mid-term and final examination

◦ E 129 非常勤講師 Pamela Gagliani  
(北海道大学外国人教師)

Text: *Notions in English* by Leo Jones.

The aim of this course is to encourage students to *communicate* in English. Language will be practised in a variety of situations. We will also have many group activities and games and during the latter part of the course will use video.

Grades will be based on attendance (not more than 5 absences) class participation and the results of the mid-term and final examinations.

◦ E 131 助教授 下村 五三夫

Textbook: Robert J. Dixon 著 *Graded Exercises in English* を教材として使います。文法の苦手な学生を対象としています。この科目をパスした者は「英語共通試験」をパスしたことと同じ扱いを受けます。リージェンツ出版社。

## 英語 II

◦ E 201 教授 永原 和夫

Carson McCullers: *The Member of the Wedding* (Eichosha-Penguin ¥1,200)

現代のアメリカ南部作家の中でも、高度の名声と芸術性を誇るカーソン・マッカーズの円熟期の作品である。どんな理由があっても $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失なう。

E 202 }  
◦ E 203 } 教授 豊国 孝

H.E. Bates: *The Lighthouse* (北星堂) ¥680

Somerset Maugham: *Episode & The Romantic Young Lady* (南雲堂) ¥540

ベイツとモームの短編小説を読む。 $\frac{2}{3}$ 以上出席しない者は受験資格を失なう。

◦ E 204 助教授 君 羅 久 則

Muriel Spark, *The Girls of Slender Means*. 新日本教文大学社 800円

◦ E 205 } 非常勤講師 三 好 暢 茂  
◦ E 206 } (札幌大学助教授)

菅沼, 加藤, 三好: *Three Outstanding Detective Stories*

(朝日出版社) ¥ 880

◦ E 207 非常勤講師 片 山 厚  
(北海道大学教授)

使用テキスト: *Contemporary American Short Stories* (英宝社)

本書は1960年以降, John Barth, Donald Barthelme などの最近のアメリカの短編小説を集めたもの。現代アメリカ小説の動向を伺い知ると同時に, 今日のアメリカ語に習熟することができる選集である。

◦ E 208 非常勤講師 西 村 千 稔  
(小樽女子短期大学助教授)

アメリカのノーベル賞作家, ヘミングウェイの名作短編のいくつかをとりあげ, 新批評的なアプローチでの解釈を試みる。

予習を十分にやってきました。

出席も重視し, 遅刻は認めません。

テキスト

1. 「インディアン部落」, 朝日出版社。

◦ E 209 非常勤講師 佐 藤 幸 子  
(小樽女子短期大学助教授)

W.S. Maugham: *The Travel-Books*, 英宝社, ¥ 700

本作品はW.S. Maugham がビルマ・シャム・インドシナを旅行した際の旅行記である。たくさんのエピソードに彩られた楽しいエッセイである。多読を旨とするので予習を必ずすること。出席を重視する。

◦ E 211 助教授 下 村 五三夫

Textbook: *Britain in the 1880s in Words and Photographs* by Colin Ford and Brian Harrison (The Eihosha Ltd. ¥ 1,200)

(言葉と写真で綴った1880年代イギリスの国民生活史である。もう少し説明を加えるならば, 歴史を写真によって再現し, 写真を生きた証拠として歴史を描いた書物である—編注者まえがきより—)

◦ E 212 助教授 高 橋 英 光

Sydney J. Harris: *Happiness In Marriage ?*

Sydney J. Harris: *Telling It Like It Is ?*

3/5以上の出席のない者は, 受験資格を失なう。遅刻は欠席扱いとする。

人間や社会の様々な問題を扱った短いコラム集を読む。

◦ E 213 非常勤講師 鈴 木 良 克  
(小樽女子短期大学助教授)

James O. Robertson: *American Myth, American Reality*

(開文社 ¥ 900)

◦ E 214 非常勤講師 鈴 木 良 克  
(小樽女子短期大学助教授)

James O. Robertson: *American Myth, American Reality*

(開文社 ¥ 900)

◦ E 215 非常勤講師 根 本 慎  
(札幌医科大学衛生短期大学部助教授)

テキスト: P. Milward, *Understanding the West* (南雲堂 ¥ 1,100)

3/5以上出席しない者は評価の対象としない。遅刻は欠席扱いとする。

◦ E 216 非常勤講師 根 本 慎  
(札幌医科大学衛生短期大学部助教授)

テキスト: E.G. Seidensticker, *The Cultured and the Civilized*



(朝日出版社 ¥ 800)

3/5以上出席しない者は評価の対象としない。遅刻は欠席扱いとする。

- E 217 非常勤講師 下 宮 英 治  
(北海道武蔵女子短期大学助教授)

テキスト : *Polite Fictions* (異文化間の理解と誤解)

著 者 : Nancy Sakamoto, Reiko Naotsuka (金星堂 980 円)

- E 221 } 外国人教師 Michael Carr
- E 222 }

Abbs & Freebairn : *Developing Strategies* Longman

This course will emphasize functional communication in English. Attendance and participation in the classroom and the language laboratory will be required. More than three unexcused absences will automatically result in failure.

- E 223 非常勤講師 Pamela Gagliani  
(北海道大学外国人教師)

The aim of this course is to teach Business English in a communicative way. A large range of expressions and vocabulary will be taught, mainly by role plays and simulations. We will also use video.

Grades will be based on attendance (no more than 5 absences) class participation and the results of the mid-term and final examinations.

### 英 語 III

- E 301 教授 永 原 和 夫

Joseph Conrad : *Heart of Darkness* (研究社 ¥ 980)

Conrad (1857 - 1924) 初期の中編小説を詳しく読む。やや難解な英語なので、かなりの予習が必要。どのような理由があっても3/5以上出席しない者は受験資格を失なう。

- E 302 教授 豊 国 孝

D.H. Lawrence : *Love Among the Haystacks* (Benguin Books)  
イギリスの小説家D.H. ロレンスの短編小説を読む。3/5以上出席しない者は受験資格を失なう。

- E 303 助教授 君 羅 久 則

C. Dolley (ed.), *The Second Penguin Book of English Short Stories*. (Eichosha-Penguin Books) (英潮社新社) ¥ 1,700

- E 304 非常勤講師 菊 池 昭  
(小樽商科大学短期大学部教授)

*W. Faulkner's Short Stories and Speeches* (開文社出版, ¥ 600)  
ウィリアム・フォークナーはアメリカのノーベル賞作家。  
出席状況を重視。7回以上欠席した者の成績評価はできない。

- E 305 非常勤講師 西 村 千 稔  
(小樽女子短期大学助教授)

アメリカの現代作家の短編を多読する。  
予習を十分にやってきました。出席も重視し、遅刻は認めません。

テキスト  
1. *Modern American Masterpieces*, 朝日出版社.  
2. *Bitter & Sweet Love Stories*, 金星堂.

- E 311 助教授 下 村 五三夫

Textbook : *Unfinished Revolution—1917 : Before and After—* by E.H. Carr (The Eihosha ¥ 960)  
ロシア革命研究の第一人者による、ソヴィエト問題を扱った三編の論文を

講読します。

。 E 312 助教授 高橋 英光

Mariorie Boulton: *The Anatomy of Lanquage* (成美堂)

言葉と人間の頭の働きとの関係を考える。2/3以上の出席のない者は受験資格を失なう。遅刻は欠席扱いとする。

。 E 313 非常勤講師 高嶋 稔  
(小樽商科大学短期大学部教授)

テキスト

(1) P. Farb, *The Ecology of Language*. (英宝社)

(2) A.H. Marckwardt, *American English*. (北星堂)

上記テキストの(1)は速読用、(2)は精読用である。この2冊を読んで、〔1〕英文の内容を正確に把握できる読解力を身につけること、〔2〕文の要点を的確にまとめることができる能力をつけること。〔3〕アメリカ英語の実態を知り、言語についての認識を深めること、などがこのクラスの目的である。

このE 313のクラスでは「大学での英語は、学生が自ら学習するのであって、教師から何かを習うのではない」という考え方を採る。従って、学生諸君が教室にくる前にテキストを精読して、内容についての疑問点や問題点をまとめ、それを持ち寄って、みんなで議論しながら解答を得る、という演習方式になる。

時間が限られているので、クラスでは英語を日本語に訳すことはしない。学生の自主的・積極的な勉強を前提として、教室での演習をすすめる。

当然のことではあるが、テキストを前もってきちんと読まないでクラスに出席するのは無意味なので、そのような学生は退室してもらうことがある。

。 E 314 非常勤講師 浪田 克之介  
(北海道大学助教授)

C.P. Snow, *Variety of Men* (英宝社)

上記テキストの講読を中心とする。

。 E 315 非常勤講師 下宮 英治  
(北海道武蔵女子短期大学助教授)

テキスト: *English from the MASS MEDIA* (放送英語入門)

著者: Kiyoshi Hasegawa, Haruo KizuKa (金星堂 1,100円)

ドイツ語 I	大	3	大	1	大
ドイツ語 II	大	3	大	1	大
ドイツ語 III	大	3	大	1	大
ドイツ語 IV	大	3	大	1	大
ドイツ語 V	大	3	大	1	大
ドイツ語 VI	大	3	大	1	大
ドイツ語 VII	大	3	大	1	大
ドイツ語 VIII	大	3	大	1	大
ドイツ語 IX	大	3	大	1	大
ドイツ語 X	大	3	大	1	大

## ドイツ語 I・II

ドイツ語の授業は下記のクラス編成により行われる。

	ドイツ語 I		ドイツ語 II	
火	IA	イエーガー	IIA	イエーガー
	IB	佐藤(拓)	IIB	佐藤(拓)
	IC	大塚	IIC	大塚
	ID	加納	IID	加納
	IE	大塚		
木	IF	大塚	II E	大塚
	IG	副島	II F	副島
	IH	筑和	II G	筑和
	II	吉岡	II H	吉岡

### 1. クラス説明

- (1) IA・IIAは、ドイツ人講師による会話主導の授業。
- (2) IB・C・D・Eは易しい講読（主として文法知識の応用力の涵養を目指す）、IF・G・H・Iは文法である。
- (3) ドイツ語IIは、IIA以外はすべて講読である（ただし実践的訓練を主とすることもある）。

### 2. 履修方法

- (1) ドイツ語I・IIともに、火曜日と木曜日の授業から必ず一科目ずつ履修すること。尚、IEは今年度に限り火曜日4講目に置かれる。
- (2) IA・IIAとも履修者数を教室の都合上40名までとする。
- (3) ドイツ語I・IIの同時履修は出来るだけ避けること。それが止むを得ぬ場合にも、Iが不合格であればIIも不合格となるので厳に注意すること。
- (4) ドイツ語I・IIともAクラス（希望者クラス）以外は指定クラス制である。所属クラスはオリエンテーションまでに教務の掲示板に発表する。

### 3. 注意事項

- (1) 授業出席を重視する。各学期1/3以上欠席したものには、原則として各定期試験の受験資格を与えない。

- (2) ドイツ語Iのオリエンテーションを4月22日(火)9時30分より104番教室において行うので、ドイツ語I履修希望者は必ず出席すること。
- (3) 辞書の紹介は、オリエンテーションで行う。
- (4) 所属クラスの教科書は、最初の授業までに本学生協で必ず購入しておくこと。すぐに品切れになることが多いので早目に購入すること。
- (5) 毎週火曜日(1時-2時)と木曜日(1時-3時)を面会日とし、ドイツ語およびドイツ語の授業に関する質問や要望に答える。場所は大塚の研究室(旧研究棟424)。

## ドイツ語 I

IA 外国人講師 ローレンツ・イエーガー  
(北海道大学外国人教師)

教科書：(1) Lernziel Deutsch, Grundstufe I (Wolfgang Hieber著  
Max Hueber社 1983年刊。)

(2) Glossar (上記教科書の用語解説)

総合的なコミュニケーション能力の涵養を目指す。当初からドイツ語の構造上の法則性の理解を促す意味で、文法規則の習得にも大いに力を注ぐ。折に触れてドイツ事情を分かり易く紹介する。

IB 非常勤講師 佐藤拓夫  
(北海道大学助教授)

教科書：ドイツ生活さまざま(改訂版)(内藤道雄編著 朝日出版社)

文法クラスと並行して行われる初級読本の授業です。いきなりドイツ文の解説から入りますので、初めはとまどわれるかもしれませんが、ゆっくり進んでいきますので、ついてきてください。少なくとも本文の予習だけは欠かさないように。積極的な授業参加を期待します。なお出席を重視します。これについては最初の時間にひとつのルールを呈示しますので、聞きもらさないようにしてください。

I C

助教授 大塚 讓

教科書：若いドイツ(新訂版)(宮内敬太郎, ガービ・ハース編著 三修社 1200円)

ドイツの若い世代の実情をかいま見ながら, 文法知識を実際に運用してみる練習を行っていきます。積極的に参加してください。出席を重視します。面会日については「注意事項」(5)を参照のこと。

I D

非常勤講師 加納 邦光  
(北海道大学助教授)

教科書：改訂 ハロードイッチュラント (三室次雄著 三修社)

ドイツの若者たちのことを紹介してあるやさしいドイツ文を読みます。練習問題もあるので, 予習して授業に参加して下さい。出席は毎回とります。試験は前期・後期・各一回行います。

I E

助教授 大塚 讓

教科書：在間/アルブレヒト 現代ドイツ語文法読本 (三修社 1200円)  
易しくて愉快な小話を読みながら, 自ずと文法知識の応用力が養えるように工夫されたテキストです。積極的に参加して下さい。出席を重視します。面会日については「注意事項」(5)を参照のこと。

I F

助教授 大塚 讓

教科書：現代ドイツ語—初級文法編 (在間進著 郁文堂 1200円)

現代ドイツ語の構造の基本を正確に理論的に理解し, それを生きた形で運用してみる練習を行っていきます。積極的に参加して下さい。出席を重視します。面会日については「注意事項」(5)を参照のこと。

I G

非常勤講師 副島 博彦  
(北海道大学講師)

教科書：文法を2ページで (橘好碩編 朝日出版社)

ドイツ語の理解・運用の能力を養い, 言語意識を鋭くすることを目的に授業を進めます。詳細は, 最初の授業時間に説明します。必ず出席して下さい。

I H

非常勤講師 筑和 正格  
(北海道大学助教授)

教科書：新しい緑の小ドイツ文法 (中村・有賀 他著 朝日出版社)

授業の詳細は第一回目の授業で説明する。予習を欠かさず, また真面目に出席することが肝腎。

I I

非常勤講師 吉岡 義彦  
(北海道大学助教授)

教科書：独文法演習 (自著, 初回に直接配布する)

基本文法の修得をめざします。当初はなるべく少ない語彙を使って実際にドイツ語の文を作る練習を通じて, 文法の基礎を身につけて行きます。音声の練習も同時に行います。

## ドイツ語 II

II A

外国人講師 ローレンツ・イエーガー  
(北海道大学外国人教師)

教科書：(1) Lernziel Deutsch, Grundstufe I (Wolfgang Hieber 著 Max Huber 社, 1983年刊)

(2) Glossar (上記教科書の用語解説)

昨年度に引き続き, この教科書を勉強してゆく。授業の主旨についてはドイツ語 I Aの項を見よ。

Ⅱ B 非常勤講師 佐藤 拓夫  
(北海道大学助教授)

教科書：新ドイツ事情（高辻，Zobel 著 朝日出版社）  
昨年度使用の上記教科書第11課から再開します。授業のやり方、進度は昨年度と同じ。少なくとも本文の予習だけは励行して下さい。なお昨年度は出席についてのルールが徹底されませんでしたので、今年度の最初の時間にこの点についてもう一度説明しますので、聞きもらさないようにして下さい。

Ⅱ C 助教授 大塚 譲

教科書：ドイツ語表現練習読本（尾崎盛景，大谷弘道 共著 三修社 850 円）  
ドイツで生活する日本人留学生のカルチャーショックを通して生活文化の相違を考え、同時に基本的なドイツ語を覚え込み生きた表現を作り出してみる練習をします。積極的に参加して下さい。出席を重視します。面会日については「注意事項」(5)を参照のこと。

Ⅱ D 非常勤講師 加納 邦光  
(北海道大学助教授)

教科書：聖夜物語（平尾浩三編 白水社）  
易しい読み物を読みながら、ドイツ語の力をつけていきましょう。予習をして授業に出るようして下さい。出席は毎回とります。試験は前期・後期それぞれ一回行います。

Ⅱ E 助教授 大塚 譲

教科書：マティーアス君の日本体験記（ペーター・リヒター，大塚譲共著 白水社）  
ドイツ少年の日本での生活体験を通して我々の生活文化を少し距離を置いて考えてみます。大部分周知の事柄なので予習は簡単にできるはず。テキストの文を使って絶えず応用作文練

習を行います。前期で終了の予定。積極的に参加して下さい。出席を重視します。面会日については「注意事項」(5)を参照のこと。

Ⅱ F 非常勤講師 副島 博彦  
(北海道大学講師)

教科書：科学技術時代の人間（R.v. ヴァイツゼッカー著 小野寺／平尾編 白水社）  
簡潔明快な文体で、私たちに身近な、アクチュアルな問題を扱ったテキストです。既習のドイツ語の知識を確認しながら、読解力の養成を主眼に授業を進めます。

Ⅱ G 非常勤講師 筑 和 正 格  
(北海道大学助教授)

教科書：七人の息子（ヴィーヘルト著 朝日出版社）  
前期・後期共全員が何等かの形で当たるようにする。予習を欠かさないこと。むやみに欠席をしないこと。

Ⅱ H 非常勤講師 吉岡 義彦  
(北海道大学助教授)

教科書：反省と希望（浜川祥枝編 白水社）  
講読を中心に読解力の養成をめざしますが、読解力と切り離すことのできない音声の練習も並行して行います。また、特に初めの頃は文法・文の構造などについての復習をおりませながら進めます。必要に応じてプリントを配布しますが、そのプリントと、辞書、教科書、それにノートを毎回必ず持参して下さい。詳しいことは最初の授業に説明しますので、特に最初の授業には極力欠席のないようにして下さい。

## フランス語 I・II

フランス語の授業は下記のクラス編成で行われる。

	フランス語 I		フランス語 II	
火	I A	{(前期)大友 {(後期)梶野	II A	{(前期)大友 {(後期)梶野
	I B	江 口	II B	高 橋
	I C	高 橋	II C	江 口
木	I A	江 口	II A	高 橋
	I B	高 橋	II B	江 口
	I C	デュボア	II C	デュボア

### 注 意

- (1) フランス語IIのクラス編成は前年度履修したフランス語Iのクラスに同じ。
- (2) Cは会話を中心とした少人数編成(定員25名前後)のクラスで、自由選択制であるが、授業内容はハードであるから、よく考えて選ぶこと。希望者多数の場合には抽選等により決定する。
- (3) フランス語I A・Bは学生番号順にクラス分けを行う。所属クラスは追って指示する。
- (4) 再履修者は過去履修したものと同一のクラスに所属すること。ただしI Cの再履修は認めない。
- (5) 1年次生は、後日指定する日時に行うオリエンテーションに必ず出席すること。

### フランス語 I

I A (火曜日) (前期) 非常勤講師 大友 浩  
(北海道大学助教授)

用書:「フランス語を読むために(二訂版)」大矢タカヤス著  
(早美出版社) ¥ 1,000

(後期) 非常勤講師 梶野 吉郎  
(北海道大学教授)

用書: 未定

I A (木曜日) 助教授 江 口 修

用書:「フランス語を求めて」須藤哲生, G・メランベルジュ編著  
(錬金社) ¥ 1,200

I B (火曜日) 助教授 江 口 修

用書:「一步一步フランス語」斉藤広信, 安藤俊次著(駿河台出版社)  
¥ 1,100

I B (木曜日) 助教授 高 橋 純

用書:「朝倉フランス語《文法》」朝倉季雄著(白水社) ¥ 950

I C (火曜日) 助教授 高 橋 純

用書:「愉快的会話のフランス語」鈴木重生, N.ジグレル著(白水社)  
¥ 1,200

I C (木曜日) 外国人講師 ブリュノ・デュボワ  
(北海学園大学非常勤講師)

L.L.: 視聴覚教材を用い簡単な会話・発音練習。教材テキストは《Sans frontières》です。言語表現は社会的行動様式と結びついたものであるから、学生諸君はフランス人の日常生活に関する著作を少なくとも1冊は読むように。なお、クラスでは活動的学生の参加により、楽しい実用的小会話、場面設定による会話構文訓練を行う。

宿題を出すので必ずやって来ること。

## フランス語Ⅱ

Ⅱ A (火曜日) (前期) 非常勤講師 大友 浩  
(北海道大学助教授)

用書:「プチ・ニコラとゆかいな仲間たち」窪川英水編注(三修社) ¥ 880

(後期) 非常勤講師 梶野吉郎  
(北海道大学教授)

用書:未定

Ⅱ A (木曜日) 助教授 高橋 純

用書:「宇宙の舞踏会」小林茂編注(三修社) ¥ 850

Ⅱ B (火曜日) 助教授 江口 修

用書:「ロンド」ル・クレジオ著, 豊崎, 佐藤編注(白水社) ¥ 850

Ⅱ B (木曜日) 助教授 高橋 純

用書:「牛」マルセル・エメ著, 渡辺義愛編(駿河台出版社) ¥ 500

Ⅱ C (火曜日) 助教授 江口 修

用書:「フランス語で書いてみよう」大賀正喜著(第三書房) ¥ 900

Ⅱ C (木曜日) 外国人講師 ブリュノ・デュボワ  
(北海学園大学非常勤講師)

L.L.: 教材は《Sans frontières》。原語の問題意識の自覚と敏感な感覚を養うために, 学生諸君はフランス語の作用を理解し, 生きた会話による言語表現のよりよい展開に努力すること。家庭学習においてはカセットの使用などで発音に慣れるように。宿題を出すので必ずやって来るように。

### 推せん辞書

(1) 多田道太郎他編「クラウン仏和辞典」(三省堂)

(2) 福井芳男他編「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社)

(3) 鈴木信太郎他編「スタンダード仏和辞典」(大修館)

(4) 井上源次郎他編「新仏和中辞典」(白水社)

## 中国語 I 助教授 中原 健二

第1年目は、発音と基本的文型を修得する。発音はかなりむずかしく、まず、アルファベットを使った独自の発音記号を読み、かつ書けるようにしなければならない。漢字は日本語と同じ字体のものもあるが、多く別の字体や日本語ではまず使わないものであるから、同じ漢字を使う言語だから易しいと思込まないように。

テキスト：(火曜日) やさしい中国語 (白水社)

(木曜日) 中国語初歩——発音・会話編——(白水社)

最初の授業のとき、上記二冊のテキストを持ってくること。

辞書：岩波中国語辞典(岩波書店)、現代中日辞典—増訂版—(光生館)など。

また、新華字典(北京商務印書館)を全員に持ってもらうが、受講者数を確認してから、こちらで用意する。

発音参考書：中国語発音教室—改訂版—(大修館書店) 300円

テープはL. L教室にあるのでこれを利用すること。

## 中国語 II 助教授 中原 健二

前期は前年度中国語 I の復習と簡単な読み物を読むこととする。これからは辞書を引くことに慣れるようにすること。火曜日と木曜日、それぞれ別のテキストを使う。

火曜日：中国語基礎課本(朋友書店)

木曜日：小学語文 I (光生館)

なお、後期は小説等の文学作品、及び現代中国の事情を扱ったものをテキストにする予定、詳しくは追って知らせる。

## スペイン語 I

助教授 山田 真史

テキスト

①文法：*Lecturas para empzar* 宮本博司 大学書林

②読本：*Pequeño Cibro de lectura* 中岡省治 白水社

辞書：西和辞典 高橋正武編 白水社

文法、読解、会話の基本を学ぶ。

詳しいことは最初の授業で説明。必ず出席し、履修者のリストに記名していくこと。再履修者も同様。なお欠席数が授業教の3分の1を越えると自動的に受験資格がなくなる。また他の外国語で単位をとれなかった学生がこのクラスに志望変更することはできない。

付記：主要なテーマが終るごとに小テストをする予定。

## スペイン語 II

助教授 山田 真史

テキスト

1 *Entre Nosotros*, Nivel-2, A. Sánchez, Madrid: SGEL

2 *Español 2000*, Nivel elemental, Garcia Fernández, Sánchez Lobato, Madrid: SGEL

必ず最初の授業に出席し、履修者のリストに記名していくこと。出席数などについては一年の時と同様。なおスペイン語 I の単位をとれなかった学生は履修できない。





## 体育実技 I・II

教授 杉山 登

教授 藤江 正

助教授 田野 有一

非常勤講師 中川 平悟  
(小樽商業高等学校教諭)

### I 体育実技の履修について

体育実技は必修科目であり、各自所定の時間に参加しなければならない。本学では1年目で毎週2時間(60時間)、2年目は前期・後期各2時間(30時間)のうち、いずれかを選択履修することになっている。

体育実技実施種目は必須種目と選択種目とからなり、必須種目として1・2年目とも体力診断テスト、トレーニング法の実践、水泳、スキー等を行う。ただし、2年目では水泳かスキーのいずれか1種目をとらなければならない。

また、選択種目としては下記Ⅲにあげた種目中より、1・2年目とも1種目を選択履修し、1年目については後期で、2年目についてはこの種目を前・後期のいずれかで選択履修するものとする。

### II 必修実技種目とその内容

#### (1) 体力測定

体力診断テスト……反復横とび、垂直とび、背筋力、握力、伏臥上体そらし、立位体前屈、踏み台昇降運動

以上の7種目で、測定実施時期は、第1回目は春季、第2回目が秋季である。体力の優劣判定は、文部省体育局のテスト判定基準により、総合点によってA・B・C・D・Eに区分されるが自己の体力の現状を把握しておくことが肝要である。

#### (2) トレーニング

トレーニング法とその実際について知っておくことは、学生生活および社会生活を営むうえで体力の維持増進をはかる場合に極めて大切なことである。ここでは体力づくりのための一般的トレーニング法、器具器材使用法、トレーニング処方等について実習し、授業時間外でも自分で処方し、自発的に継続実施できるようにもってゆきたい。

### (3) 水泳

自己安全管理の一環として、水からの事故防止のため水泳技術を修得しておくことは極めて大切なことである。指導段階の区分として都合上、4班に分け、各班ごとに下記の内容で実施する。技術修得の過程で班を移動する者もある。実施期間等については、おって掲示等により通知する。

#### <水泳実技内容>

区分	実技種目	テスト種目(泳法・距離泳)
初級グループ	・立ち方、背浮き、立ちとび込み、伏し浮き、簡易泳法、体位変換	・背浮き、伏し浮きからの立ち方…泳法 ・簡易泳法で10m以上……距離泳
中級A・Bグループ	・クロール、平泳ぎ ・背泳ぎ、横泳ぎ ・逆とび込み、潜行、ターン	・泳法2種選択……泳法 ・1種目で25～50m……距離泳
上級グループ	・クロール、平泳ぎ、逆とび込み、背泳ぎ、バタフライ、潜行、横泳ぎ、ターン	・泳法3種選択……泳法 ・1種目で50m以上……距離泳

### (4) スキー

室内に閉じこもりがちな雪国の生活において、自然に親しみながらスキー技術を習得することは、冬季体育の一環として、また将来の社会生活をたのしく健康的なものとするためにも極めて有意義である。1・2年を通して指導段階の区分として都合上、4班に分け、各班ごとに下記の内容で実施する。実施時期等については、おって掲示等により通知する。

#### <スキー実技内容>

区分	実技種目	テスト種目
初級グループ	・歩行、滑走法、方向変換 ・転倒法、登行法、直滑降 ・プルーク・ボーゲン ・シュテム・ターン	・プルーク・ボーゲン ・シュテム・ターン
中級A・Bグループ	・プルーク・ボーゲン、横すべり ・斜滑降、シュテム・ターン ・パラレル・ターン	・シュテム・ターン ・パラレル・ターン
上級グループ	・パラレル・ターン ・ウェーデルン、発展技術	・パラレル・ターン ・ウェーデルン

### Ⅲ 選択実技種目とその内容

1年目後期…バスケットボール，卓球，バドミントン

2年目前期…ソフトボール，卓球，バドミントン

2年目後期…バスケットボール，卓球，バドミントン

### Ⅳ 必須実技種目理論

必須実技種目については，各々一講分の講義をする予定であるが，その内容，日時に関してはおって通知する。

#### ◆トレーニング基礎理論（1年目）

助教授 田 野 有 一

##### ・トレーニング

今日では“トレーニング”とか“練習”とかいった言葉は実に曖昧，無雑作に用いられ，逆にいえば，それだけ便利な言葉であるといえないこともない。本論では，これらの言葉の意味するものからくりを，体力づくりの必要性和その要素を分析することからはじめ，以下，スポーツと科学，トレーニングと科学，年齢とトレーニング，競技力と体力，筋力・持久力のトレーニング，スピード・パワーのトレーニング…等の基礎知識を得ることによって，「トレーニングの種類とその方法」を探ろうとするものである。

#### ◆水泳基礎理論（1年目）

教授 杉 山 登

- 1 現代と水泳
- 2 水泳の基礎的技術要因
- 3 競泳の技術的要因
- 4 基本泳法解説
- 5 水泳の安全管理

#### ◆スキー基礎理論（1年目）

教授 藤 江 正

- 1 スキー概説
- 2 スキーの技術的な要因
- 3 スキー技術の組み立て
- 4 スキーの操作と身体の使い方
- 5 スキーの安全管理

## 4 基礎教育科目

### 経済学概論 A

助教授 鶴 沢 秀

この科目は、学生番号 86001 から 86192 までの 1 年次生と、選択を希望する 2 年次生以上の学生に対して開かれるものです。科目登録のときに注意すること。

経済学の基礎的な内容について講義します。価格理論と所得理論を中心に経済学的思考法を理解してもらうために、各自の十分な自学自習が必要となります。

テキストは未定。最初の講義のときに、必要な参考文献等について指示します。講義予定の主な項目は、

1. 経済循環
2. 消費者行動の理論
3. 生産者行動の理論
4. 市場構造と均衡
5. 政府の役割
6. 国民所得の決定
7. 物価と失業

です。

### 経済学概論 B

(前期) 講師 松 井 均

ミクロ経済学の基本的な内容を紹介します。

1. 消費者行動の理論
2. 生産者行動の理論
3. 完全競争市場の価格形成メカニズム
4. 不完全競争市場の価格形成メカニズム
5. 生産要素価格の理論
6. 厚生経済学入門

テキスト

奥野正寛『ミクロ経済学入門』日本経済新聞社

ロバート・ドーフマン『価格の理論』東洋経済新報社

### 経済学概論 B

(後期) 講師 坪 沼 秀 昌

マクロ経済学の基礎を理解することを目的とし、国民所得の計測、所得、雇用及びインフレーションの決定、財政・金融政策の効果等についての講義を行なう。

なお、この講義は 1 年次の学生番号 86193 以後の者及び 2 年次の選択を希望する学生を対象とする。

参考文献

Samuelson, P. A. and W. D. Nordhaus, Economics, Twelfth Edition

他の文献は講義の時間中に紹介する。

### 商学概論

(前期) 教授 篠 崎 恒 夫

(中期) 教授 久 野 光 朗

(後期) 教授 石 原 定 和

商業学科商学コースは大別して、商学・経営学・会計学の 3 部門より成り立っている。この 3 部門は歴史的・理論的に互いに、どのような関連性を有しているのだろうか。商学概論なる授業科目は、商学コースで準備されている 3 部門のうち、いずれを選んで主要研究対象にするかを決定する際の予備知識を与える任務をも背負っている。商学概論の役割はそれだけではない。現代資本主義の生成・発展の過程で、商学、経営学および会計学の各部門の学問体系がどのような必然性をもって生まれきたり、発展せしめられて今日の姿なり体系を為すようになったかを解明するのが、むしろ本来の役割であろう。

時代の要請に応じて各部門はそれぞれが主となり従となって、お互いに影響しあいながら発展してきた事実を念頭におきながら部門別に以下の内容をもって概論を行うことにする。

I 経営学部門(4月～6月末)

担当 教授 篠崎 恒夫

1. 商の発展と資本の成立
2. 企業形態の展開

3. 株式会社

4. 管理の形成

(参考文献は随時指示する。)

II 会計学部門(7月~10月末) 担当 教授 久野 光朗

最初の授業でガイダンスを行い、参考書の紹介などもいたしますが、教養としての会計——会計学を講述したいと思います。講義内容は、おむね次のようになります。

I 会計情報の利用者と会計情報の分析

II 会計情報の提供者と会計情報の生産

III 会計情報の提供者と経済事象の認識

主要参考書:

高田正淳編著『テキストブック会計学(1)会計学総論』(有斐閣, 1982)

参考書:

青木茂男, 『会計学総論』(中央経済社, 1978)

染谷恭次郎, 『会計学』(中央経済社, 1978)

神戸大学会計学研究室編, 『会計学基礎論』(同文館, 1985)

久野光朗編著, 『簿記論講義』(同文館, 1986)

神戸大学会計学研究室編, 『第4版会計学辞典』(同文館, 1984)

森田・宮本編著, 『会計学辞典』(中央経済社, 1983)

III 商業学部門(11月~2月) 担当 教授 石原 定和

1. 経済生活と商業

2. 資本主義以前の商業・信用

3. 資本主義の発達と商業・信用

(参考文献) 石坂昭雄他『商業史』(有斐閣双書)

法学概論 (前期) 教授 大谷 良雄

法律学の基礎理論について、できるかぎりわかりやすく講義をする予定です。テキストはとくに用いませんが、参考文献については、開講時に紹介致します。

法学概論 (後期) 助教授 桑原 康行

後期では、法の適用・解釈を中心に講義する。

法の解釈については、興味深い内容の判例を素材にすることとしたい。

教科書 五十嵐清著『法学入門』(一粒社)

なお、講義のさいには、六法(いずれの出版社のものでもよい)を持参して下さい。

管理科学概論 (前期) 教授 樋口 透

(後期) 教授 沼田 久

この講義の目的の一つは、学生諸君に管理科学についての正しいイメージを形成してもらうことである。

[前期]

1. OR (Operations Research)の歴史
2. コンピュータとOR
3. 意思決定過程
4. システム・シミュレーション
5. 日程計画

[後期]

順序問題, 経済性分析, 動的計画法, ゲームの理論, 線形計画法, 輸送問題, 巡回セールスマン問題, 最適停止問題, グラフ理論などの講義を通じて, 管理科学の考え方を身につけてもらう。

教科書・参考文献: 必要に応じて指示する。

数 学 S1, S2 教授 白川 寛

S3, S4 助教授 兼 岩 龍 二

S1, S2, S3, S4

(1) クラス編成

所属は自由。しかし、一つのクラスに集中すると授業がやりにくいから、開始時の様子を見て、各自調整して下さい。

(2) 教科書

S1, S2, S3, S4とも共通。

微分積分学の基礎 水本久夫著 培風館 1,600円

## 目次

1. 微分法
2. 初等関数の微分
3. 高階導関数
4. 平均値の定理
5. ティラーの定理
6. 偏微分法
7. 2変数合成関数の微分
8. 2変数のティラーの定理
9. 不定積分
10. 定積分
11. 広義の積分
12. 重積分
13. 微分方程式
14. 数列と級数

このテキストは、高校の「数学I」を予備知識として理解できるように書かれている。

### (3) 講義内容

S1, S2, S3, S4とも同一。

目次の1. ~ 9.

### (4) 定期試験

前期・後期の定期試験問題はS1, S2, S3, S4とも共通。

### (5) 参考書

微分積分学演習 水本久夫著 培風館 980円

## 5 専門教育科目

### 統計学

助教授 本間正義

統計学の考え方から出発し、情報を整理するための記述統計、そして標本情報から母集団の情報を帰納するための推測統計について講義する。経済分析に用いられる統計的手法の理解とその応用に重点をおく。

講義内容：度数分布，相関・回帰分析，時系列分析，  
確率分布，推定・検定の理論，予測と決定。

教科書：(1) 森田優三『新統計概論』日本評論社。

(2) 森田優三・久次智雄『演習統計概論』日本評論社。

上記の(1)は講義中に使用するので持参のこと。

### 数理統計学

教授 久次智雄

2年次の「統計学」で扱った各種の手法の基礎となる数理を明らかにし、さらにその他の手法・考え方について講義する。

講義内容 確率変数(補論)，標本統計量の分布，線形代数(補論)，多変数正規分布，回帰分析・分散分析の基礎，推定・検定論の基礎，ベイズ的推論など。

### 参考書

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』(第2版) 東洋経済新報社。

### その他

(1) プリントを用いる予定。

(2) 「統計学」，「数学」および「応用数学(代数)」は履修済みであるとして講義を進める。

(3) 欠席・遅刻等をしていると単位修得が困難になるのでその点に留意してほしい。

### 経済統計学(前期)

助教授 本間正義

経済統計学の目的は経済理論と統計の双方を用いて現実の経済現象を分析することである。各種統計データの解説および利用上の注意点を述べ、さら

にそれらの統計を用いてどんな経済分析が可能かを講義する。理論と実証の間のギャップをいかにうめるか、種々の経済分析における統計的結果をいかに解釈するか、また国際間で比較可能なデータをいかに作成するか、などにも触れる。

#### 講義内容

- 1) 経済変数と各種経済統計データの解説
- 2) 国民経済計算および産業連関分析
- 3) マクロデータによる経済分析
- 4) 経済統計の国際比較

#### 教科書

中村・新家・美添・豊田『経済統計入門』東大出版会

参考書は講義の中で随時指示します。

### 経済原論 I

助教授 今 喜 典

マクロ経済学を基礎から中級レベルで講義する。

#### 講義内容

1. マクロ経済学の課題
2. 経済循環とその測定
3. 有効需要の原理
4. 投資と利子率——IS-LM分析
5. 消費、投資、貨幣について再論
6. 物価水準と総供給——古典派とケインズ
7. インフレと失業——ケインジアン・マネタリスト・新しい古典派
8. 経済成長

#### テキスト

早見・鶴沢・若林・今・佐竹共著「現代経済学講義」中央経済社、近刊。

#### 参考文献

1. 小泉進「マクロ経済学」, 有斐閣大学双書, 1982.
2. 黒坂佳央, 浜田宏一「マクロ経済学と日本経済」日本評論社, 1984.
3. Dornbusch, R. and S. Fischer, *Macroeconomics*, 3rd ed. McGraw-Hill, (International Student Edition), 1984.
4. Gordon, R.J., *Macroeconomics*, 3rd ed. Little, Brown and

Company, 1984.

### 経済原論 II

講師 山本賢司

この科目では、3年次以降の経済学諸科目に対する基礎を与えることを目的として、中級レベルでのミクロ経済学を解説します。ここでのアプローチは、各経済主体の行動に幾つかの仮定を設け、それによって経済現象に説明を与えようとする考え方です。

- 概容:
1. 単純な部分均衡分析
  2. 消費者行動の理論
  3. 不確実性下での消費者行動の理論
  4. 企業行動の理論
  5. 生産物市場における価格の決定
  6. 生産要素市場における価格の決定
  7. 一般均衡分析とその応用
  8. 市場均衡と経済的厚生
  9. 市場の失敗
  10. 競争的均衡分析の限界——不完全競争の理論
  11. 情報の経済分析——レモン・プリンシプル, マーケット・シグナリングなど

教科書: 林 敏彦著「ミクロ経済学」(スタンダード経済学シリーズ)

(東京: 東洋経済新報社 1984年)

参考文献: 講義内容に、かなり近い教科書として、次の2冊を挙げておきます。他の文献については、開講時に指示します。

1. Nicholson, Walter; *Microeconomic Theory: Basic Principles and Extensions*. 3rd ed. (Chicago: The Dryden Press, 1985)
2. Quirk, James P.; *Intermediate Microeconomics*. 2nd ed. (Chicago: Science Research Associates, Inc., 1983)

必要な経済学のレベル: 「経済学概論」あるいはそれと同等程度の経済学を仮定します。

試験: 3回の試験を予定しています。

クイズ: 随時、クイズを行ないます。

成績評価の基準：成績は、試験の結果（60%）とクイズの結果（40%）とで決まります。

## 経済学史

助教授 栗田啓子

経済学史の目的は、1) 経済学の発展を歴史的に追うことで、現代理論のより深い理解を助ける、2) 過去の理論との比較によって、現代の経済学を相対化し、新しい視点を模索する、の二点にある。この二つの課題を念頭におきながら、本年度は、重農主義からJ.A. シュンペーター（1883—1950）までを対象として、各理論の持つ歴史的意味と、その思想的背景を検討することにしたい。

教科書：水田洋・玉野井芳郎編『経済思想史読本』（東洋経済読本シリーズ 41）東洋経済新報社 1978年

参考文献：M. ブローグ、久保・真実・杉原・宮崎訳『新版 経済理論の歴史』全4冊、東洋経済新報社、1982—86年。

根岸隆、『経済学の歴史』（スタンダード経済学シリーズ）東洋経済新報社、1983年。

## 経済原論Ⅲ

非常勤講師 唐渡興宣  
（北海道大学助教授）

資本主義社会の内的編成原理の解明を中心に講義を展開する。講義は以下の通りを行う。

1. 資本の生産過程
2. 資本の流過程
3. 資本主義的生産の総過程
4. 資本主義社会と国家
5. 資本蓄積と恐慌

参考文献

1. 『資本の力と国家の理論』（青木書店）
2. 『世界市場恐慌論』（新評論）

## 計量経済学（後期）

助教授 遠藤 薫

講義内容

計量経済モデルの組み立てと未知パラメーターの推定を中心に講義します。

参考書

L.R. クライン『計量経済学入門』東京創元社

佐和隆光『数量経済分析の基礎』筑摩書房

## 経済史概論

教授 井上 巽

昨年度に続いて、比較経済史の観点からイギリス、フランス、ドイツおよびアメリカの史実を素材としつつ、経済史の基礎理論を論述します。本年度は昨年度の講義内容を引き継いで、以下のような編成とします。

- I はじめに
- II 市民革命論
- III 重商主義論
- IV 産業革命論

テキストは使用せず、小生の講義ノートを中心に論述します。参考文献はそのつど指示しますが、さしあたり松田智雄編『西洋経済史』（青林書院新社）および大塚久雄・高橋幸八郎・松田智雄編著『西洋経済史講座』I, II, III, IV（岩波書店）をあげておきます。

## 日本経済史

教授 長谷川 伸三

日本資本主義発達史（今年度は幕藩体制の解体より国家独占資本主義の確立までを講義する予定）。

1. 幕藩体制の解体と開国
2. 本源的蓄積政策の展開
3. 産業革命と産業資本の確立
4. 国家資本と財閥の発展
5. 第一次世界大戦前後の経済構造の変化
6. 労働者・農民運動の発展
7. 昭和恐慌と国家独占資本主義の確立

前期ではレポート提出、後期ではテストを行うほか、適宜講義中にペイパ



ーや中間レポートの提出をもとめる。それぞれの課題を期日までに提出し、合格した者のみを評価するので、出席と自主的な学習を心がけてほしい。

テキスト：後藤靖・佐々木隆爾・藤井松一著『日本資本主義発達史』有斐閣，1979年刊。

参考書：とりあえず講義全般にかかわるものをあげておく。

野呂栄太郎著『初版日本資本主義発達史』上・下，岩波文庫。山田盛太郎著『日本資本主義分析』岩波文庫。楫西光速編『日本資本主義の発展』全3冊，東京大学出版会。大江志乃夫著『日本の産業革命』岩波書店。石井寛治著『日本経済史』東京大学出版会。隅谷三喜男編『昭和恐慌』有斐閣選書。中村隆英著『日本経済—その成長と構造』東京大学出版会。山崎隆三編『現代日本経済史』有斐閣。安藤良雄編『近代日本経済史要覧』東京大学出版会。

## 経済政策

講師 板谷淳一

初歩的な経済学，特にミクロ経済学の知識を前提にして，応用ミクロ経済政策について講義します。より具体的に言えば，厚生経済学および公共経済学（時間が許せば，産業組織論）の分野より，市場の失敗や公的部門の資源配分に関する話題を中心にとりあげます。説明は平易であることを旨としますが，財政学およびミクロ経済学の履習は理解を助けるものと思います。

1. 市場交換と最適性
2. 生産と最適性
3. 外部性
4. 公共財
5. 只乗りとインセンティブ・メカニズム
6. アローの不可能性定理
7. 補償原理
8. 最適課税の理論
9. 公企業の料金設定
10. 独占禁止政策
11. 費用—便益分析

〔参考文献〕

レイヤード＝ウォルターズ共著『ミクロ経済学』（創文社），A.M. フェルドマン著『厚生経済学と社会選択理論』（マグロウヒル社），野口悠紀雄著『公

共経済学』（日本評論社）。

## 工業経済学

教授 吉武清彦

- I 産業構造の意義
- II 技術進歩
- III 工業化と都市化
- IV 独占と競争
- V 独占対策
- VI 二重構造論
- VII エネルギー経済の展望
- VIII 社会資本論

文献

篠原三代平『産業構造論』（筑摩書房，第2版，経済学全集18）

宮沢・新野・斉藤『現代日本経済論』（有斐閣選書）

両角良彦『競争と独占の話』（日経文庫）

森谷正規『技術強国・日本の挑戦』（PHP研究所）

江見康一・塩野谷祐一『日本経済論』（有斐閣双書）

岩波編集部『科学技術の開発と新しい社会』（1983年 岩波）

注 講義の内容及び順序について若干の変更が生ずることがある。

## 社会政策

教授 吉武清彦

第I篇 社会政策史

第II篇 社会政策と労働経済学

第III篇 社会政策各論

文献

大河内一男『社会政策』（総論・各論計2冊）有斐閣

隅谷三喜男『労働経済論』（筑摩書房）

隅谷三喜男『労働経済論』（日本評論社）

白井泰四郎『企業別組合』（中央公論社）

セイバイン『西洋政治思想史』I（岩波現代叢書）

今井登志喜『英国社会史』（上・下）東大出版会

G.D.H. コール『イギリス労働運動史』（I・II・III）岩波

E. Barker *The Development of Public Service in Western Europe, 1660-1930*, (Archon)

## 財 政 学

教授 早 見 弘

昭和61年度は、以下の項目に沿って新しい問題と理論をとり入れながら進めて行くつもりである。

1. 政府の役割と財政規模の拡大
2. 公共財、準公共財、価値財の性質とそのフィナンス
3. 公共選択論：投票と現代民主主義機構
4. 租税と公債
5. 租税の規範理論
6. 租税の実証理論

### 参考文献

拙著『財政学』（同文館、1980年）。

その他は、講義中に指示する。

## 国 際 経 済 論

講師 船 津 秀 樹

本講では、国際経済学の理論と応用について解説します。

### I. 国際経済学の方法

### II. 国際貿易理論

1. 絶対優位と比較優位
2. リカーディアン・モデル
3. ヘクシャー・オリーン・モデル
4. 特殊要素モデル
5. その他の貿易モデル

### III. 関税の理論

1. 部分均衡分析
2. 一般均衡分析
3. セカンド・ベストの理論

### IV. 国際間生産要素の移動

1. 移民の理論
2. 資本移動論
3. 直接投資と間接投資
4. 多国籍企業論

### V. 国際貿易と不完全雇用

1. 新古典派理論
2. ケインズ理論

### VI. 国際収支の理論

### VII. 国際貿易と不確実性

## VIII. 経済統合

参考書：Walter, I. and Areskoug, K.,  
*International Economics* (John Wiley & Sons, Inc., 1981)

## 貿 易 政 策

助教授 佐 竹 正 夫

伝統的な貿易政策の課題は、自由貿易主義者の次の主張を検討することにあるといつてよい。

自由貿易政策は保護貿易政策よりも優れた政策である。

ここで「優れた」という判断は、「効率性」という価値基準から導かれるもので、他の価値基準——例えば所得分配の公正——は考慮されていない。またこの主張は言うまでもなく多くの仮定の上に成立しているものである。いわく完全競争、完全雇用、国際収支の均衡、静学性……。自由貿易主義者はもちろんこれらの仮定が極めて「厳しい」ものであることを承知しており、それらを緩めたときでも上の主張が成立するかどうかを検討している。そしてその場合でも、保護貿易政策は「最善の」政策ではないことを論証している。

しかし、1970年代に入ってからの世界各国の保護主義への傾斜は、自由貿易主義者の主張が現実には十分な説得力を持っていなかったことを物語っているようにみえる。何が問題なのであろうか？

一つの答えは政治経済学的なアプローチから与えられる。「資源配分の効率性」とは一つの価値基準にすぎず、現実の世界では他の価値基準が採用されるかもしれない。その中には非経済的な価値も含まれているであろう。新しい保護貿易主義に対する経済学的な説明は、自由貿易主義者のモデルが「二つの調整」に十分な考慮を払ってこなかったことに求められる。一つは国際収支の調整である。変動為替相場制度への移行はこの調整をスムーズに行うための必然的な移行であったが、現在のところ十分に機能しているとは言えない。第二の調整は産業調整である。

講義ではこれらの点を詳しく説明したい。関連の深い科目は、国際経済論、国際金融論、国際経済法である。

## 国 際 金 融 論

講師 松 井 均

1. 国際決済の仕組
2. 中央銀行の外国為替市場介入

3. 先物為替の理論

4. ユーロ・カレンシー・システム

5. SDR問題

6. ECの通貨同盟

テキスト

滝沢健三『国際通貨の話』東洋経済新報社 1981年

参考文献

滝沢健三『国際金融機構』文雅堂銀行研究社 1985年

小宮隆太郎・須田美矢子『現代国際金融論』(理論編)

日本経済新聞社 1983年

## 金融経済論

助教授 今 喜 典

現代経済の金融的側面をとりあげ、これを理解するために必要な基本的概念や分析用具を、できるだけ体系的に講義する。応用経済学としての性格上、ミクロ経済学的な考え方がもちいられる。ただし、必要な経済理論についてはそのつど説明する。現在のわが国は、国債の累積、金融の自由化・国際化などにみられるように金融構造の大きな変動の時期にある。講義では、わが国の金融制度・構造の検討にも十分な注意を払う。

講義内容(予定)

1. 貨幣経済の特質と金融の機能
2. わが国の金融構造
3. 家計の金融行動——貯蓄と資産選択
4. 企業の金融行動——投資と資金調達
5. 銀行行動——金融仲介と貨幣供給
6. 金融市場の均衡分析——利子率の決定
7. 金融部門と実物部門の相互作用

テキストは使用しないが、以下の参考文献が有用である。

1. 岩田規久男・堀内昭義「金融」, 東洋経済新報社, 昭和58年。
2. 永谷敬三「金融論」, マグロウヒル好学社, 昭和57年。
3. 貝塚・志村・蛭山編「金融・証券講座」, 東洋経済新報社, 昭和56年。
4. 古川顕編「日本の金融市場と政策」, 昭和堂, 昭和58年。

## 金融政策

講師 坪 沼 秀 昌

金融政策の有効性についてのケインジアン、マネタリスト及び合理的期待学派からの考え方、金融政策運営の在り方、国債管理政策等について講義し、さらに時間が許せば金融自由化に象徴される日本の金融情勢の変化についてもふれる。

参考文献は最初の講義の時間に紹介します。

## 流通組織論

非常勤講師 片 桐 誠 士

(小樽商科大学短期大学部教授)

商品流通の歴史的な流れを体系的にあとづけたうえで、資本制商品流通の特質を明らかにし、とくに現代の商品流通組織について詳細な考察を行う。

1. 交換ないし商品流通の歴史的展開
2. 資本制商品流通組織
3. 現代の流通組織
4. 日本型流通システム

テキスト 森下二次也著「現代商業経済論」(有斐閣)

参考文献 阿部真也著「現代流通経済論」(有斐閣)

田村正紀著「日本型流通システム」(千倉書房)

## マーケティング

非常勤講師 三 浦 商 収

(北星学園大学教授)

本講では、マーケティングの基礎理論に主眼をおき、以下の項目をとりあげる予定である。

1. マーケティングの生成と発展
2. マーケティング概念
3. マーケティング計画と戦略
4. 競争構造とマーケティング行動
5. 消費者行動
6. 市場調査
7. 製品戦略
8. 価格戦略

9. マーケティング・チャネル戦略
10. コミュニケーション戦略
11. 販売管理
12. 商品管理戦略
13. 国際マーケティング戦略
14. マーケティングの展開と課題

テキスト：西村・三浦編著『現代マーケティング入門』中央経済社  
 参考書：G・フィスク著，西村林ほか訳『マーケティング環境論』中央経済社

### 国際マーケティング

助教授 森田 憲

東西問題および南北問題の紹介と，そのなかで日本の企業の抱える諸問題を考えてみることにする。以下の内容を予定している。

1. 東西経済関係の枠組み。
2. 南北経済関係の枠組み。
3. 東側諸国の経済改革問題。
4. 南側諸国の一次産品問題。
5. 南東経済関係と日本経済の役割。

参考文献は講義の中で適宜指示する。

### 商業英語

非常勤講師 北村正司  
 (小樽女子短期大学長)

外国貿易の流れを体系的に展開し，貿易実務と英語商業通信文を統一的に講述し，実務に関する基礎的な知識の修得と商業英語の読解力および表現力の養成をはかりたい。

1. 英語商業通信文の構成と形式
2. 取引関係の樹立
3. 売買契約の成立
4. 売買契約の履行
5. 電報とテレックス

なお文部省認定実用英語技能試験1級及び2級に関する指導を加えたい。  
 テキスト：中村新吾「模範貿易英語」東洋経済新報社

### 保険論 (夏季集中) 非常勤講師 広海孝一 (一橋大学教授)

1. 保険制度
2. 保険の分類
3. 保険制度の生成
4. 保険企業の経営
5. 保険市場
6. 保険と現代経済社会

〔付〕テキスト……広海孝一『保険論』(現代商学全集第8巻)中央経済社，昭和60年。

参考書……広海孝一『保険業界』教育社，1985年，広海孝一・塙善多(編)『保険用語辞典』日本経済新聞社，昭和60年。

### 証券市場論

教授 石原定和

序章 有価証券とは何か

1. 流通する証券 証券の流通とはどういうことか 有価証券の展開
2. 証券の種類を決めるものは何か 貨幣証券，商品証券，資本証券 信用形態のちがい 商業信用，資本信用，公信用
3. 現代資本主義と有価証券

第1章 株式会社(→資金の空間的集中)

第2章 株式会社の意思決定(→株式会社の支配)

第3章 株式の流通(→資本の時間的結合)

第4章 株式価格の形成(→擬制資本)

第5章 証券市場と金融市場

第6章 公債と証券市場

参考文献は授業中にその都度提示する。

### 証券金融論

講師 青山和司

証券金融は，証券市場において有価証券の流通・取引に必要な資金の貸借に関わる概念である。本講義では，このような証券金融を証券市場と金融市場(貨幣市場)とを接続する信用形態として把握する視角から，前半で信用

理論の体系を解説し、後半で証券金融固有の問題を取り扱う予定である。

講義内容は、多少の変更はあるが、概ね次のとおりである。

I. はじめに

II. 信用論

- (1) 商業信用 (2) 銀行信用

III. 金融市場

- (1) 貨幣市場 (2) 証券市場

IV. 証券金融

- (1) 証券金融の意義と機能 (2) 証券会社と証券金融  
(3) 信用取引制度と証券金融 (4) 証券恐慌 (5) 証券市場の  
機関化とその影響

《参考文献》

(1) 川合一郎編『金融論を学ぶ』有斐閣。

(2) 福田敬太郎『証券金融』千倉書房。

上記以外の文献についても、講義中にその都度紹介します。

経営学原理 A

教授 篠崎恒夫

(2年次生)

上手く企業を経営する術は、経営技術であって、経営学ではない。我々は、かかる術をも含んだ日常の企業活動を対象として捉えて、それを理論的、客観的に解明することが経営学の目的であり、そのようにして把握される理論の体系が経営学である。いかに経営するか、管理するかは、状況に応じ、人により、やり方が種々様々であるので、諸君らが自ら巷にあふれる実践書や経済新聞で学ぶべきことである。我々がなすべきことは、まず、何故経営学なのかと経営学の社会的必然性をたずね、ついで、その歴史的発展を究明し、今日何が中心問題なのかを批判的に考えることである。

1. 経営学の認識課題
2. 経営学の基礎概念——労働疎外と管理の必然性、組織と官僚制、市場経済
3. 経営学の生成と発展
4. 経営管理の展開
5. 企業形態

6. 経営者論

7. 人間関係論

8. 経営組織論

参考書——拙著『管理・組織批判』同文館(10月刊行予定)

馬場克三著『経営経済学』税務経理協会

内田義彦著『資本論の世界』、清水正徳著『働くことの意味』岩波新書

関連科目——以下の諸科目を既に履習しているか、又は同時履習することが望ましい。

心理学、哲学、歴史学、社会科学概論、社会学、社会思想史、商学概論、経済原論Ⅲ、経済史概論、経営管理論、流通組織論

成績評価——ペーパーテストコース、レポートコースの二つのコースを選択すること。詳細は講義頭初に説明する。

経営学原理 B

教授 篠崎恒夫

(3, 4年次生)

Aクラスが方法論から現実説明型であるのに対して、Bクラスは、逆の向きである。先ず現状をたずね、そこで何が問題なのかを論議し、次いで、経営学の基礎分野を順次解明して行く。

1. 現在の経営の状況
2. 経営者論
3. 企業形態論
4. バーナード組織論
5. サイモンの意思決定論
6. 人間関係論
7. フォード経営
8. 科学的管理法
9. 資本運動と経営責任

単位認定は、最低5回の筆記試験、あるいはそれに替る3本までのレポート(つまり最低2回はペーパーテスト)、年間10回の不定期出席チェック(5回が単位認定の必要条件)を総合して行う。詳細は講義頭書に説明する。

## 経営学説史 (前期)

非常勤講師 高橋正泰  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

アメリカで特に発展した経営学の展開に焦点をあてる。今世紀初頭の科学的管理法から人間関係論、行動科学、システムズ・アプローチそしてコンティンジェンシー・アプローチにいたるまでの系譜を講義する予定である。

テキスト：権泰吉著『アメリカ経営学の展開』白桃書房 1984年。

## 企業形態論 (前期)

助教授 小田福男

各企業形態の「所有—支配—経営」の構造を解明する。

### 講義内容

#### 序. 企業形態論の概観

1. 個人企業, 合名会社, 合資会社
2. 株式会社
3. 企業結合諸形態, 多国籍企業
4. 資本主義公企業, 協同組合企業
5. 社会主義企業

なお、特に株式会社および社会主義企業について重点的に講義する予定である。

テキスト：大島国雄『企業形態論』, 同文館, 1976年,

拙著『ソビエト独立採算制理論の展開』, 千倉書房, 1982年

参考文献：その都度指示する。

## 経営管理論 (前期)

助教授 鷓野好文

決定分析の為の基礎理論をとりあげます。

テキストとして次のいずれかを予定しています。

Schlaifer Robert O., *Analysis of Decisions Under Uncertainty*, McGraw-Hill.

Howard Raiffa., *Decision Analysis*, Addison-Wesley.

前者は、経営管理の実際において生じる不確実性下の決定問題の理論的分析をあつかった入門書です。後者は、前者ほど実際的ではありませんが、やはり、決定問題の基礎理論をあつかった入門書です。両者ともビジネススク

ールの講義用テキストとして書かれたものです。全体を通じてバランスがとれ、しかも初歩の代数以上の数学は使用されていません。

## 労務管理論

助教授 林伸二

労務管理上の諸問題を最新の理論に基づいて説明・解明していきたい。

### 講義内容

- 1 労務管理論の目的とアウトライン
- 2 労務管理の基礎
  - 2.1 個人とは何か
  - 2.2 集団とは何か
  - 2.3 個人—集団—組織の関係
- 3 労務管理論
  - 3.1 リーダーシップ
  - 3.2 タスクの構造化 (仕事の専門化)
  - 3.3 スタッフィング (人員配置)
  - 3.4 業績評価
  - 3.5 教育・訓練・開発
  - 3.6 報酬
  - 3.7 労使関係
  - 3.8 組織開発

なお、講義の折に実際の会社のデータを多用する。

テキスト：拙著『仕事の価値—新しいモチベーション研究—』白桃書房 昭和60年

参考文献：問題の性質によって異なるが、著書・雑誌論文を多用する。

## 財務管理論

非常勤講師 井村進哉  
(小樽商科大学短期大学部講師)

現代の企業経営活動には、生産・販売過程に直接関連する活動ばかりではなく、この過程に密接に結びついた独自の活動として、財務活動が含まれている。財務活動とは、当面、企業経営に必要な資本の調達・運用にかかわる活動とすることができるが、資本主義的企業は、一方で利潤の極大化を追求すると同時に、他方で支払不能に陥らないように資本の調達・運用の両面を

適合させること（収益性と財務流動性の均衡維持）を要請されている。企業財務論とは、こうした収益性と財務流動性の均衡維持原則のうえに展開される財務活動の特質を分析する理論であり、また財務管理論は、それに関連する管理技法・理論ないしは意思決定技法・理論に他ならない。

講義では、①企業金融論、②資本予算論、③運転資本論などの基本領域についての検討を進めるとともに、スタグフレーション下の国債の大量発行・累積、金融の自由化・国際化とあいまった企業の「財テク」活動、その結果としての金融の投機化が含む諸問題についても検討を加えることにする。

<テキスト>

片山伍一、後藤泰二編著、『経営財務論』（ミネルヴァ書房、1983年）

<参考文献>

岩田巖雄、高橋昭三編『現代証券市場と企業財務』（大月書店、1982年）

## 産業心理学

教授 和田 完

産業心理学の成立過程を検討しながら、その無体系的できわめて広範囲な研究領域を総括的に概観する。われわれは、これらの多岐に及ぶ領域から、産業精神衛生と呼ばれる分野が、なぜ近年問題となってきたかを研究し、その具体的な話題をいくつかとりあげる。とくに臨床心理学的テーマ、適性検査、社会病理学的問題等が強調されるだろう。

## 国際企業論（後期）

講師 高田 聡

企業活動が国際的に展開する過程とその背景、また企業活動の国際化が各国の経済・経営活動に与える影響について考察してゆきたい。講義における主要な目的は企業活動の国際化の現状を把握することにあるが、その理解の体系化のために歴史的な視角からの分析に重点をおいて論を進める予定である。

なお、参考文献など講義の詳細は最初の講義の際述べる。

## 経営史

助教授 榎本 悟

企業経営の歴史的発展について講義をします。経営史は標準的なテキストがまだありませんので、下記の文献を参考文献とします。

参考文献

Alfred D. Chandler, Jr., and Richard S. Tedlow, The Coming of Managerial Capitalism: A Casebook on the History of American Economic Institutions, Richard D. Irwin, 1985.

Mansel G. Blackford and K. Austin Kerr, Business Enterprise in American History, Houghton Mifflin, 1986.

## 簿記学 A

助教授 山本 真樹夫

### (1) クラス編成

受講者を学生番号によってA・B 2クラスに分ける。2・3・4年生いずれも：001～200はA，201以降はB。

### (2) 講義内容

簿記とは常識的に考えるならば、単に記帳技術であると考えられるかもしれない。しかし、企業の複雑な営業活動、投資活動、財務活動を記述し、総括するためには常識的な記帳技術で満足させることは到底できない。そのため、一定の理論的基礎にもとづいた記帳技術である複式簿記が要請されるのである。

したがって、複式簿記を学ぶためには、その基本原理を十分に理解しなければならない。同時に、その基本原理にしたがった記帳技術の修得も要請される。受講者は、複式簿記およびそこから産出される会計情報が企業にとって、さらに社会にとっていかなる役割を果たしているのか、について問題意識を持って受講して欲しい。

### (3) テキスト

久野光朗編著『簿記論講義』（同文館 1986）

## 簿記学 B

助教授 松本 康一郎

(1) 講義は、簿記の原理（単なる入門ではない）を習得し、あわせて、会計関係諸科目の基礎を得ることを目的としてすすめます。講義内容は、概略つぎのとおりです。

1. 複式簿記機構の基本原則
2. 企業複式簿記の記帳手続（個人企業に限定して）
3. 帳簿組織の基本
4. 株式会社企業簿記

5. 本支店会計ないし連結会計の基本
- (2) 受講者は、学生番号××201以降の者とする。
- (3) テキストとしては、久野光朗編著『簿記論講義』(同文館)を使用する。
- (4) 参考書  
 沼田嘉穂『完全簿記教程(I, II, III)』(中央経済社)  
 安平昭二『簿記要論 改訂版』(同文館)  
 『初・中級簿記問題演習』(中央経済社)

(5) 注意  
 会計諸科目の履修には、その前提として「簿記」の知識を有していることが必要です。本講義の履修上の注意については、最初の授業で詳しく述べますので必ず出席すること。

会 計 学 教授 久 野 光 朗

最初の授業でガイダンスを行い、参考書の紹介などもいたしますが、授業内容を大別すれば次のとおりです。

- § 1 総 論
- § 2 測定論  
 収 益, 費 用, 資 産, 負 債, 資 本
- § 3 伝達論
- § 4 各 論

- テキスト：  
 太田・飯野，『会計学』(千倉書房，1983)
- 参考書—現在入手可能な標準的参考書：  
 黒沢 清，『近代会計学』(春秋社)  
 山下勝治，『会計学一般理論』(千倉書房)  
 飯野利夫，『財務会計論』(同文館)  
 新井益太郎，『財務会計の理論』(同文館)  
 青柳文司，『会計学の原理』(中央経済社)  
 黒沢 清(主編)，『体系近代会計学』(中央経済社)  
 神戸大学会計学研究室編，『第4版会計学辞典』(同文館)  
 森田・宮本編著，『会計学辞典』(中央経済社)

国 際 会 計 論 助教授 松 本 康 一 郎

今日、企業会計においては、多国籍企業の出現や外国直接投資の増加などといった企業活動ないし経済環境の国際化に伴って、「国際会計論」という新しい会計領域が誕生している。

本講義では、未だ研究歴史の浅いこの国際会計論において、何がどのように取り扱われるべきかを考え、さらには、その中のいくつかの論点について、個別的にその内容と問題を明らかにする。

さしあたって、今年度に取り上げる予定の諸点は、つぎのとおりである。

1. 国際会計論の研究領域
2. 国際会計論の研究手法
3. 各国会計制度の比較
4. 会計基準の国際的調和化
5. 外国為替換算会計
6. 連結財務会計

講義の進め方としては、原則としてテキストを使用せずにフリー・ノートで行います。ただし、講義の基礎資料として、以下の文献のうちの数章をプリントにして配布します。

J.S. Arpan, L.H. Radebaugh (1985) *International Accounting and Multinational Enterprises* 2nd ed.

なお、履修上の注意については最初の授業で詳しく述べますので、受講希望者は必ず出席すること。

管 理 会 計 助教授 中 善 宏

今年度の管理会計論の講義は、短期利益計画と予算管理をとり上げる。管理会計論における議論は、極めて多様な内容を含んでいるが、これら2つは研究および実務における最も基本的な分野である。講義内容はつぎのようになる。

- (1) 管理会計論の体系
- (2) 利益計画  
 直接原価計算  
 CVP分析



### (3) 予算管理

教科書：溝口一雄「管理会計」日経文庫 昭和58年

参考書：溝口一雄（編著）「文献学説による管理会計論の研究」中央経済社 昭和59年

また講義中に関連文献を適宜指示する。

## 原価計算（後期）

助教授 福島吉春

### 1. テキスト

溝口一雄『最新原価計算講義』（中央経済社，1979）——同書は資格試験のための自習書として版を重ねてきた同一著者の著書『例解原価計算』の教科書版であり，簡明な叙述に特徴がある。

### 2. 講義内容

- (1) 総説（原価計算の基礎）
- (2) 実際原価計算
- (3) 標準原価計算
- (4) 直接原価計算

授業では計算技法だけでなく，その基盤になっている管理思考や歴史的背景をも理解してもらおう。なお，本年度はほぼテキストの説明順序にそって授業をすすめる予定であるが，最初の授業で講義内容および下記参考文献の解説をおこなう。テキストと『教授要目』を持参されたい。

### 3. 参考文献

- (1) テキストを理解するための基礎文献——①岡本清編著『管理会計の基礎知識』，②津曲・宮本編著『原価計算の基礎知識』（以上，中央経済社），③原価研究会編『原価計算テキスト』（同文館）。
- (2) 理解を深めるための文献——①岡本清『原価計算（三訂版）』（国元書房），②津曲直躬『原価計算論講義』（中央経済社），③飯野・染谷編『明解簿記（1級—工業簿記・原価計算）』（国元書房）。

## 憲法（後期）

助教授 結城洋一郎

「憲法」という法形式が成立する歴史的な過程と意義を学び，わが国の憲法については，基本的人権を中心に具体的裁判例を参照しながら講義を行う。

講義内容

## I 総論

- (1) 憲法とは何か
- (2) 自然権思想と国民主権原理

## II 日本の憲法

- (1) 明治憲法から日本国憲法へ
  - (i) 明治憲法の特徴
  - (ii) 憲法の変動
- (2) 日本国憲法
  - (i) 基本的人権の保障
  - (ii) 平和主義

テキスト：特に指定はしないが，講義の最初に何点かを紹介する。

参考書：樋口陽一・大須賀明『日本国憲法資料集』・三省堂

その他については，その都度紹介する。

## 行政法 I

教授 秋山義昭

具体的な事例を素材にしながら，行政法の全体を体系的に講義する。行政法は，憲法・民法等の知識を不可欠とするので，受講者はこれらの科目についてすでに相当の成績で履習済みであることを要する。

テキスト：遠藤・熊本・秋山・畠山「教材行政法判例」（北大図書刊行会）

参考書：今村成和「行政法入門（新版）」（有斐閣）

田中二郎「新版行政法上（全訂第二版）」（弘文堂）

成田ほか「現代行政法」（有斐閣）

室井ほか「行政法を学ぶ1・2」（有斐閣）

## 財産法 I

（前期）助教授 飯塚和之

民法典は5編から成り，そのうち第1編総則，第2編物権，第3編債権を財産法と呼び，第4編親族，第5編相続を家族法と呼ぶ。財産法Iは，第1編，第2編を対象とするが，前期は，第1編民法総則を対象とする。

テキスト：遠藤浩ほか編『新版民法(1)総則』有斐閣双書，1,400円

六法：ポケット六法（有斐閣），コンパクト六法（岩波書店）など。

## 財産法 I (後期) 教授 神田孝夫

民法典の第2編物件が主要な対象となる。

テキスト 星野英一「民法概論Ⅱ(物権・担保物権)」良書普及会刊  
参考書は開講時に紹介する。

なお、前期試験の成績が極度に悪い者に対しては後期試験の受験を認めない場合もありうるので、留意されたい。

## 財産法 II 教授 神田孝夫

民法典の第3編債権が主要な対象である。もっとも、そのうちの不法行為法の分野は、本学では、環境法という講義でとり扱われることとなっている。講学上債権法という概念はさらに多くの特別法や判例法を含む。講義がこれらを含むことはいうまでもない。

財産法 I を履修せぬまま本講義を理解するのは困難である。反面、財産法 I のみを履修してこと足れりとするのは大いに問題である。両者の対象領域は、理論的にも制度的にも、相互に密接な関連をもっているからである。多くの諸君の受講を期待するが、単位取得は、あまり安易に考えないでもらいたい。念のため、予め一言する。

テキスト 遠藤浩・打田峻一編「新版民法(債権)講義」青林書院新社  
参考書は、開講時に紹介する。

六法全書は必携(どの出版社のものでもよい。ただし、試験の際には、判例や解説の付いている六法の持ち込みは許されない)。

## 民事訴訟法(前期) 助教授 中島弘雅

### 1 講義内容

民事訴訟法というのは、私人間の生活関係から生じる紛争(民事紛争)について裁判所が法を適用して解決する手続を規律する法律のことをいうが、この講義では、更にそのうちの、訴えの提起に始まり、判決の確定をもって終る、いわゆる判決手続に関する法律(狭義の民事訴訟法)について解説をする。

ただし、授業では、時間の関係もあり、学生諸君が初めて民事訴訟法を学習するに当たっては差し当たりは不要と思われる実務的ないし技術的な問題

についての説明は、大幅にこれをカットし、理論的ないし基礎的な問題について重点的に説明を行うことにする。

なお、授業は、おおむね下記のテキストの順序にそって進める予定である。

### 2 テキスト

小室直人編著「民事訴訟法講義[改訂版]」法律文化社

### 3 参考書

中野貞一郎・松浦馨・鈴木正裕編「民事訴訟法講義[補訂版]」有斐閣  
新堂幸司著「民事訴訟法[第2版]」筑摩書房

## 会社法 教授 青竹正一

わが国の企業の多くは共同企業の典型的形態である会社組織をもって経営されており、現代の資本主義経済は会社とくに株式会社制度とはなれては考えられないといつてよい。会社法は、このような会社組織の成立から消滅に至る諸段階における利害関係人の利益調整を行なうことを主たる目的としている重要な法律である。講義は、かかる目的を有する会社法が現実の企業活動においてどのように機能しているかを知ってもらうために、判例などの具体的素材を提起しながら進めることにする。

教科書：上柳・北沢・鴻・竹内編『会社法 I, II』有斐閣

参考書：ジュリスト別冊『会社判例百選(第四版)』有斐閣

河本編『株式会社法教材』商事法務研究会

## 商取引法 講師 浅木慎一

講義前半においては、商法典中の第三編商行為の諸規定を中心に、企業取引法一般を概観することを試みる。

しかし、現在の企業取引法として商行為を学ぶためには、商法典の規定のみを対象とするだけでは不十分であるから、講義後半においては、商法典の規定する営業以外に、金融業法をとりあげる。そして、金融取引を素材として、現実に行なわれている取引の姿を具体的に検討してゆく。

テキストは、とくに指定しない。参考書として、以下のものをあげる。

平出慶道著「商行為法」(青林書院)

前田庸著「銀行取引」(弘文堂)

加藤一郎・吉原省三編「銀行取引(第四版)」(有斐閣)

## 有価証券法(夏季集中)

非常勤講師 大塚龍児  
(北海道大学教授)

有価証券に表章される権利の発生、移転、消滅および、表章される権利とその原因との法的関連性を、手形法、小切手法を中心に概説する。  
簡単な参考書として、「手形・小切手の法律入門」有斐閣新書を挙げておく。

## 経済法

助教授 和田健夫

独占禁止法をはじめ市場機構に対する法的介入を目的とする多くの法律を体系的に講義します。

昨年度の講義内容

### 1. 市場機構＝価格メカニズムと法のかかわり

1.1. 近代市民法の理念

1.2. 市場機構の自律性

### 2. 経済法の性格

2.1. 市場機構の自律性の喪失と法的介入

2.2. 経済秩序法と経済規制法

### 3. 経済秩序法

3.1. 独占禁止法の法理

3.2. 消費者保護法

3.3. 中小企業法

### 4. 経済規制法

4.1. 経済規制の方法と目的

4.2. 公益事業法

4.3. 個別産業保護法

4.4. 経済統制法

4.5. カルテル許容法

テキスト

・実方・厚谷・向田・和田編「教材独占禁止法(第二版)」(青林書院)

・商経六法(昭和61年度版)三省堂

参考書・教科書は講義の時間に指示する。

## 経済刑法

助教授 丸山雅夫

主として財産犯を取り扱い、現代型の犯罪のいくつかにも言及する。なお、刑法の基本的な考え方を理解していることが前提となるので、必要な限度で総論の諸問題についても説明を加える。

・教科書 特に指定しないが、適切だと思われるものを開講時に指示する。

・参考書として、次のものを用意されたい。

『ジュリスト増刊刑法の争点(増補)』藤木英雄編、有斐閣。

『別冊ジュリスト82刑法判例百選Ⅰ総論(第二版)』、『別冊ジュリスト83刑法判例百選Ⅱ各論(第二版)』平野龍一・松尾浩也編、有斐閣。

## 労働法

助教授 島田陽一

労働法をめぐる主要論点をできる限り具体例をとりあげて検討します。今年度は、立法動向(男女雇用機会均等法、労働者派遣事業法、労働時間立法等)に比重を置きます。

教科書 外尾健一著『新版労働法入門』(有斐閣)

ジュリスト増刊 労働判例百選(第四版)

## 環境法(後期)

助教授 飯塚和之

前半で「不法行為法」、後半で「環境法」を講義の対象とする。

講義内容

前半 I 不法行為法総論

II 不法行為法各論

III 救済方法論

後半 I 環境法総論

(1) 公害の規制

(2) 公害被害の救済

(3) 公害防止事業

(4) 公害防止計画

II 環境法各論

III 環境管理計画論

テキスト：(前半)川井健著『民法教室不法行為法』(日本評論社、

2,000円)

(後半)原田尚彦著『環境法』(弘文堂, 1,500円)

参考文献:幾代通『不法行為』(筑摩書房, 2,600円),前田達明『不法行為法』(青林書院新社, 3,400円),四宮和夫『事務管理・不当利得・不法行為(中巻)(下巻)』(青林書院新社, 2,700円, 3,900円)飯塚・堀田訳『イギリス不法行為法の基礎』(成文堂, 2,300円)

## 国際法 I

教授 大谷良雄

本年度の国際法 I は, おおむね次の内容について講義をする予定であります。

- I 国際関係と法
- II 国際法の形成と適用
- III 国際関係の多元化と国家の地位
- IV 資源と富の国際的再配分
- V 国際法の新しい動向

参考文献 山本草二著「国際法」(有斐閣, 昭和60年)  
内田久司編「国際法の基本問題」(有斐閣, 昭和61年)  
田畑茂二郎著「国際法講義上・下」(有信堂, 57, 59年)  
大谷良雄著「概説EC法」(有斐閣, 昭和57年)  
小田・石本編「解説条約集」(三省堂, 昭和60年)  
香西・安藤編「国際機構条約資料集」(東信堂, 昭和61年)

## 国際機構論

助教授 中村 恵

### 1 講義内容

講義を前期と後期の二期に分け, 前期は国際連合憲章上の主要問題について検討し, 後期は国際機構の概念・構造・表決制度等について検討します。前期については, 憲章の解釈が中心となります。

### 2 テキスト及び参考書

特定のテキストは使用しません。参考書については, 最初の講義の際に指示します。

## 国際経済法

助教授 清水章雄

国際法のなかで国際経済の調整・発展を目的とする部分およびそれに関する国内法について, 次の範囲で講義を行います。

### 1 国際金融法

- (1)外国為替管理 (2)IMFの法的枠組み (3)IMFにおける法の支配
- (4)国際開発金融

### 2 国際投資法

- (1)投資規制 (2)国家契約 (3)国有化と国家責任 (4)外国投資の保護

### 3 国際通商法

- (1)輸出入規制 (2)ガットおよびその他の通商条約 (3)国際商品協定

### 4 国際競争制限法

- (1)独禁法の渉外的適用 (2)競争制限の国際的規制

### 5 国際知的所有権法

- (1)知的所有権の国際的保護 (2)技術移転

### 6 国際租税法

- (1)租税条約 (2)国際取引に伴う課税 (3)国際的租税連脱防止

なお, テキストとして松下満雄『日米通商摩擦の法的争点』(有斐閣), その他に高野雄一・小原義雄編『国際経済条約集』(有斐閣)を使用します。

## 国際取引法

助教授 桑原康行

### 1. 講義内容

次の順序で講義を行う。

- 一. 序論
- 二. 国際的売買
- 三. 国際的支払
- 四. 国際的運送・保険
- 五. 紛争の解決

### 2. 教科書

澤田他著『国際取引法講義』(有斐閣)

### 3. 参考文献

第1回目の講義の時に指示する。

## 管理科学通論

非常勤講師 浅利英吉  
(東海大学助教授)

近代の組織体の管理・運営とその社会への対応は、既に人智を結集した科学の対象となっており、管理科学の名はこれに由来する。管理科学通論ではまずこの学問と技術の連峰を広く展望し、ついでその背梁山脈を形成している確率論・数理統計学へ入門する。ついでいくつかの数理手法—たとえばシミュレーション、予測、線形計画法—をえらび、それらの理論と実際を論ずることを通じて、管理科学を学ぶ基礎をやしなわしめるものとする。

## 管理科学 I

助教授 若林信夫

本年は、管理科学モデルのフレームワークとコンピュータについて学ぶ。

### 1. 生産と在庫モデル

Arrow-Karlin-Scarff, Johnson-Montgomery, Holt-Simon-Modigliani は、基本的なフレームワークを築いた。それについて解析的、代数的、確率的に概説し、コンピュータで解く。

### 2. ナップサック、割り当て、輸送、積み換え、巡回セールスマン問題

数理計画法の応用であり、改訂単体法、LU分解、Dantzig-Wolfe 分解原理をコンピュータによって解く。

### 3. マルコフ連鎖、待ち行列、シミュレーション

出生死滅過程、M/M/1, ラウンドロビン、乱数生成、ソフトウェア

### 4. データベースモデル

関係形式、推論の数学 dBASE III の実習

全体を通じ、APL, BASIC, BCPL, C, dBASE III, Pascal 等のプログラム言語を演習する。

出席：履修者の70%以下の出席率のとき、並びに計算センターで演習をするとき、出席をとる。

レポート：年2回（夏休み、冬休み 百円ノート1冊）

試験：年2回（9月はじめ、2月定期試験内）

参考文献：

本：

ヒリヤー・リーバーマン「ORの理論と応用」（同文館）

早見 弘ほか「現代経済学講義」（中央経済社）

雑誌：

Management Science, Operations Research, Naval Research  
Logistics Quarterly, オペレーションズ・リサーチ.

## 管理科学 II

教授 樋口 透

ORは、企業の科学的管理を指向したものであるが、本論では、もう少し広く、社会システムに焦点をあてる。つまり、社会に存在する矛盾や不合理性が何であり、またそれらをどのように解決し、調和のあるシステムとして存続させるか。このような観点からORおよびシステム論を考える。

比較的新しい分野であり、市販の文献にない理論や手法も解説するので講義に出席し、その場で理解することが肝要である。なお、演習問題を課するのでコンピュータのプログラミングに習熟しておく必要もある。

教科書(前期)：鈴木光男・中村健二郎「社会システム」共立出版  
後期は教科書を用いない。

## 管理科学 III

(前期) 教授 戸島 熙

AIばやりである。しかし、現在AIの名前のもとで語られる理論なり技法なりが10年後にも生き残っているかどうかを考えてみるとはなはだ心もとないように思われる。実際、現在は新技術の開発と既成技術の陳腐化が猛烈な急いで進行しつつある時代なのである。したがって、あるAIの技法について講義しても受講者が社会にでる頃にはそれはすでに時代遅れになっているということもありうる。そこで、AIなどを大学の講義で取り上げることの妥当性がきびしく問われなければならないが、そうしたことを十分承知の上で本年度は“時論”としてあえてAIを取り上げることにしたい。

また、コンピュータと通信が結びつくテレコミュニケーションについても“時論”のひとつとしてその技術的側面の解説を予定している。

## 管理科学 III

(後期) 教授 沼田 久

後期では、ORに必要な、ものの見方、考え方、コンピュータの世の中における使われ方、その他種々の題材をとり上げる予定。

前期の講義内容とは直接的関連はないので、そのつもりで受講すること。

## 経営情報論

教授 山田 一生

現代社会の多様化と環境適応への必然性は、本格的ハイテクノロジー時代に突入した昨今、新しい企業概念を求めるほどに急進的である。とりわけ、現代社会での組織変革への要請は、生き残り戦略の展開面できわめて顕著であり、いわゆる組織・管理に関する諸問題へのサイバネティック・アプローチを急務とする。本講義は、組織体が社会・経済環境の激変に適応していくためには、組織サイバネティックスの展開が必須であり、広く組織論や意思決定論など経営学的研究をも包含すべきであるとの観点から、MIS（管理情報システム）からDSS（意思決定支援システム）までの発展的考察を意図して理論面からのアプローチを試みる。同時に、OA（オフィス・オートメーション）時代の実践的理論の構築について言及する。

ここで、経営情報論の生成過程について、MIS研究の立場からの体系的検討を試みるとすれば、まずMIS前史としての事務管理論（事務の機械化レベル）から、経営事務管理論（管理の機械化レベル）、経営情報管理論（経営の機械化レベル）へと発展段階的にとらえるのであり、さらにはより人間中心的なアプローチである経営組織管理論（組織システムのレベル）へと展望されるであろう。本講座では、これらの詳細についても考察する予定である。

テキスト：山田一生著『組織変革と情報システム』（文真堂）

## 機械化会計

教授 山田 一生

機械化会計とは、その言葉の通り理解すれば、機械化された会計を意味する。より具体的には、会計処理の機械化を意味するのであり、伝統的には会計組織論の研究領域として認識されてきたのである。今日的には、会計学全般にわたる情報システムズ・アプローチの台頭によって、かなり広範囲の研究領域を包摂するものと言えよう。この研究領域は、1966年のAAAの「基礎的会計理論」（A Statement of Basic Accounting Theory）の表明以来、伝統的会計理論に対する強烈なインパクトとして認識され、Accounting Information Systemsあるいは情報システムとしての会計を指向する「会計情報システム」へと発展されるのである。

このような会計研究に関する学術的アプローチの結果、伝統的企業会計制

度としての会計システムは、とくにコンピューター・インパクトおよび情報科学の影響によって、新しく会計情報システムとして展開される。すなわち、会計情報システムは企業の経営管理に関して、(1)事後計算(報告的会計)、(2)現在計算(管理的会計)、(3)事前計算(予測的会計)のそれぞれの情報を提供し、経営意思決定に役立つ情報システムとなる。さらに、最近におけるDB/DC(Data Base/Data Communication)に関するソフトウェア技術分野での発展に伴って、「計画策定と予算編成プロセスへの意思決定支援システム」(Decision Package Programmes)の実証的研究なども登場したのであり、財務計画を中心とするDecision Support Systemsの研究領域などは、今後ますます重視されるべき発展方向となるであろう。

本講座における具体的な講義内容としては、(1)会計処理におけるコンピューターの位置づけ、(2)会計とコンピューター・プランニング、(3)会計とコンピューター・オペレーション、(4)会計とコンピューターライズMIS、(5)コンピューター時代の会計として、その体系化をはかる意図をもつが、講義と演習とを同時併行させる方式を実現できるよう配慮することにする。すなわち演習プログラムの主要なものとしては、(i)仕訳プログラム、(ii)勘定記入プログラム、(iii)試算表プログラム、(iv)精算表プログラム、(v)修正財務諸表プログラム、(vi)デジジョン・パッケージ・プログラムなどについて、COBOL言語を中心とするDB/DCアプローチを展開する予定である。これらの同時併行作業を通じて、会計情報システムの原理的ならびに実証的研究をはかり、会計情報システムの基本的設計を究明するとともに、さらに、機械化会計の諸問題についても論述する。

主要参照文献ならびに参考文献については、きわめて多数のものを列挙する結果となり、標準的なテキスト・ブックを指定することは、とうてい困難である。したがって、講義の中で必要に応じて、その都度紹介する。

## 応用数学（代数）

（前期）教授 沼田 久

（後期）講師 中村 隆志

経済学、管理科学、統計学等の勉強を進めるために必要な線形代数学を講義する。ベクトル空間、行列、行列式、線形不等式、凸集合等々の諸概念に慣れること、行列やベクトルを含む演算に慣れること、線形計画問題の解法の初歩に触れること、線形代数学が経済学などにどのように応用されている

かを知ることなどである。計算機論 I, 応用数学 (解析) とともに, 管理科学の学生は必ず履修することが望ましい。

高等学校的な数学の得手・不得手とはあまり関係はないが, 論理的能力または, ある程度の根気が必要である。

なお, 二度目, 三度目等になる履修者には, 採点を厳しくするので, 安易な態度で履修届を出すとは後悔するかも知れない。

教科書: 沼田 久「線形数学序説」学術図書出版社

### 応用数学 (解析)

講師 中村 隆 志

管理科学, 経済学などを学ぶための数学的基礎である微分方程式, 差分方程式を中心に, それらの基本解法, 数値計算法, 各種の応用などについて講義する。

教科書

松田正一, 洲之内治男, 杉山昌平: “OR のための基礎数学 3 (差分・微分方程式と最適値問題)”, 丸善

「数学」は履修済みであるとして講義を進める。

また, 後期にはコンピュータによる数値計算の演習を行うので, 「情報処理 I」を併せて受講し, 基本的なプログラミング技法を習得しておくことが望ましい。

### 応用数学 (統計 I)

助教授 清水川 緋紗子

テキスト: 坂本慶行他著『情報量統計学』共立出版 1983

### 応用数学 (統計 II)

助教授 清水川 緋紗子

テキスト: 繁樫算男著『ベイズ統計入門』東京大学出版会 1985

### 応用数学特講 II (前期)

非常勤講師 小林 正 忠  
(元北海道大学教授)

(目標) 演算子についての講義をする。

(内容)

第 1 章 演算子 E と定係数線形差分方程式

§ 1-1 演算子 E について

§ 1-2 定係数線形差分方程式の解法

第 2 章 演算子 D と定係数線形微分方程式

§ 2-1 演算子 D について

§ 2-2 定係数線形差分方程式の解法

§ 2-3 差分演算子と微分演算子の関係について

(予備) 第 3 章 ラプラス変換

### 情報処理 I

(前期) 助教授 杉本 英二

情報処理 I の目標は, コンピュータを使って情報を処理する技術の入門です。特に前期は入門の入門であるから, 触れてみる, やってみることを重点にしている。そういう意味では, 本学のコンピュータ利用に慣れてもらうための入門コースであると言ってもよい。コンピュータを利用するには, どのようにコンピュータを動かすのか指令を伝えなくてはならない。この指令をどのように書けば, 人間の意図どおりにコンピュータに伝わるかを定めた言葉やルールを, コンピュータ言語と言う。これらの言語のうち, 古くはなつたがやさしい FORTRAN 言語を使って, プログラミングの基本定石を修得してもらいます。(最近のパソコンにあわせて, BASIC の話もします)

これらの基本定石を使えば, ある程度のプログラムを自分で作れるようになります。これが前期の目標です。

さて, コンピュータにやってもらうべきプログラムができて, それだけではコンピュータは動いてくれません。プログラムをコンピュータに与える手続が必要です。お役所に書類を出す時のように, 正確に手順を踏まなくてはなりません。これがうまくいってないと, エラーだと怒られます。どのようにエラーなのかを, コンピュータがあまり教えてくれないのが, コワイ所です。このためにも, 講義が必要でしょう。最近のパソコンのあるものでは, かゆいところに手が届くように教えてくれるものも出現してきてはいますが, 大型コンピュータでは, 大き過ぎて手が回りかねているようです。

前期後期ともに実習は必須条件ですから, 講義とは別に, 各自そのために週当たり 2 時間程度, 実習の為の時間を用意して下さい。計算センターの利用者は諸君だけではありません。互いにルールを守り, 整理整頓を心掛けるのも学生たる努めでもあります。

テキスト: 森口繁一「JIS FORTRAN 入門(上)」第三版

## 情報処理 I

(後期) 助教授 若林 信夫

後期には、現代的なプログラム言語といわれる、Pascal, 人工知能研究の基礎となる、Lisp, 並びに情報処理技術者試験に役立つ、COBOL を基礎的に学ぶ。書かれたプログラムを正確にフォローするだけでなく、自分で改作しながら新しいアプリケーションプログラムを作ることが要求される。受講者は、後期の講義前に指定される、「自習書」を1冊選択購入し、どれかの言語のエキスパートになっていただく。実習上の不明な点は、演習助手が懇切丁寧に教えてくれるはずである。

参考書：土居 範久「Pascal 入門」 培風館  
西村 恕彦・植村 俊亮「COBOL」 オーム社  
中西 正和「Lisp 入門」(3版) 近代科学社

## 情報処理

助教授 杉本 英二

今年度は企業活動の情報処理を念頭において講義する。標語は、3 C I とする。3 C I とは、Computation, Communication, Control and Intelligence の略。今日の企業は、絶え間ない情報の収集と分析、そして、結果の経営への効果的反映がなければ、生き残れないと言われている。そこで、計算機システムを中心として、企業体の情報処理の活動と仕組みを見ることにする。

およそ次の項目を予定している：

- ・企業活動と情報
- ・データベースシステムの構造
- ・3 C I の例(営業活動, 交通制御など)
- ・ソフトウェアと信頼性
- ・高レベル言語によるプログラミング
- ・情報の蓄積と情報検索
- ・データ通信とネットワーク
- ・構造的プログラミング

実習レポートは、4回程度予定している。ユニークで早いレポートを期待している。プログラミングは、どの言語を使うか自由です。まだプログラミングが上手でない人は、この際プログラミング能力を高めるつもりでも、結構です。応援します。その他、随時、パソコンソフトの使い方も説明します。

テキスト：なし(必要な資料は配布します)

参考書：必要に応じて示します。

## 計算機論 II

教授 戸島 颯

数式処理言語 REDUCE がひととおり利用できるようになることを目指す。このため講義には計算センターの端末機室を使用する。受講者は全員計算機使用のライセンスを取っておいてほしい。前期は REDUCE を例題と演習問題により習得してもらう。後期は数理経済学, 統計学, OR などの諸問題を REDUCE により実際に解くことにする。講義は毎時間、 $\frac{1}{3}$  が口頭の説明、残りの  $\frac{2}{3}$  が端末機の操作ということになる。なお、受講者が多いときは一端末を何人かで共有することになる。

前期に使用するテキストとして、*bit* 別冊(数式処理特集号)を予定している。詳細は開講時までに掲示する。



## 6 教職科目

### 教育原理

助教授 上野 耕三郎

教職を志望する学生が「教育」について考える際、おもいうかべるのは、おそらく自己の被教育体験であろう。この被教育体験を対象化することはたいへん重要なことである。しかし、このことは思うほどやさしくはない。「教育学」も残念ながら、そのような体験そして教育事象をすべて分析できるほど確立した学問とはなっていない。もちろん、教育学もこれまでの蓄積があるわけであるから、この講義は教育(学)入門として考え、できる限り教育学の基礎的概念を用いながら、教育目的、内容、方法、制度などの問題を扱うことにする。

テキストは用いない。

### 商業科教育法(前期)

非常勤講師 横川 義雄  
(札幌大学名誉教授)

現代産業経済社会の変化と発展に伴い、商業教育の重要性を意識しつつ、商業教育担当者の「教育」と「研究」と「指導」の融合性をさぐる。

1. 産業技術の進歩と共にある1986年の当面する課題を、経済、経営、マーケティングから求めていく
2. これからの「教育」と「学習」と「指導」のあり方
  - (1) 教育と学習
  - (2) 教育と指導
  - (3) 後期中等教育の多様性から生活科学と人間性を求めて
3. カリキュラムの編成について
  - (1) 普通教科と商業教科の配置、特別教育活動について
  - (2) 商業教育と対人関係業務と人間形成教育づくりについて
4. 商業教育の目標達成のための科目群とその内容
  - (1) 商業教育の目標、商業教科の目標
  - (2) 商業科目にみる「科目群」の改訂後の特色
  - (3) 「商業経済Ⅰ,Ⅱ」「簿記会計Ⅰ,Ⅱ」と「情報処理Ⅰ」内容の展開
5. 学習指導の三つの原理—自発性、個別化、社会化—

6. 新しく研究されている学習指導法—「問題解決学習法など」—

7. 学習指導案の作成とその内容、教育実習時の注意

参考書

田中・雲英編著「商業教育論」改訂版 多賀出版 2,800円

### 英語科教育法

非常勤講師 高嶋 稔  
(小樽商科大学短期大学部教授)

この科目では「大学は学生が自分で勉強するところであって、教師から何かを習う場ではない」という考え方を採る。従って、講義形式ではなく演習方式にする。教室で検討する内容を、前もってプリントして配布するので、充分時間をかけて読み、その内容に就いての疑問点や問題点を教室に持ち寄り、みんなで議論しながら、中学・高校の英語教師に必要な資質と力量を身に付けていくようにする。その他、毎週リーディング・アサインメントを課するが、これは全て英語で書かれた外国語としての英語教育に関する論文である。できれば、年度の終り頃には各論分の内容に就いて英語で議論できるようになるのが望ましい。

教室で行なう議論のテーマは以下に示す内容になる予定である。

1. 言語本質論・世界の言語と英語の位置付け
2. 日本における英語教育の変遷
3. 諸外国における外国語教育の現状
4. 日本における英語教育の目的
5. 英語教育教材論
  - a, 言語の構造を重視する教材の作成と配列
  - b, 学習者中心の教材
  - c, 自主教材
  - d, 教科書・副教材の選択基準
  - e, 日本の英語教科書をめぐる諸問題
6. 英語教育方法論
  - a, 文法・訳読指導法
  - b, オーラル・メソッド
  - c, 直接教授法
  - d, オーラル・アプローチ

- e, 認知学習理論
- f, コミュニカティブ・アプローチ
- g, その他: CLL., TRP., Silent Way, etc.
- 7. 教室における指導の実際
  - a, 指導計画の作成
  - b, 学習指導案
- 8. 学力不振の原因とその対策
- 9. 英語教育評価論
  - a, 評価の枠組と方法
  - b, テストの望ましいありかた
- 10. 英語教師論
  - a, 望ましい英語教師とは
  - b, 英語教師に求められること
  - c, 英語教師の英語学力と指導力
- 11. 日本における英語教育に関する諸問題（もし時間があれば、教育現場からゲスト・スピーカーを招いて現状を聞く）

下記の2冊は、英語教育や上記の内容に就いての基礎知識を得る為に必要なものである。

- テキスト: (1) 大関篤英他著『英語科教育法』（金星堂）  
 (2) D.A. Wilkins: *Second-Language Learning and Teaching*.  
 (成美堂)

参考文献のリストやリーディング・アサインメントは必ず1週間前にプリントしてわたすようにするが、差し当たって次に挙げるものを座右において常に参照することが望ましい（図書館に備えてあるものを使用するのも可）。

#### 参考文献

- 垣田直巳編『英語教育学ハンドブック』（大修館書店）  
 小川芳男編『英語教授法辞典』（三省堂）  
 市河三喜監修『英語教授法事典』（語学教育研究所）

#### 道徳教育の研究（後期）

非常勤講師 廣川 淑子

社会は大人にも幼い者にも道徳的な判断や行為、態度を学習するよう要求

し、人はこれらの知識を獲得する過程を通して社会的発達をとげていくと考えます。

人間の環境への精神的適応に不可欠の道具である知識や感情が形成されていくその過程についてのいくつかの理論を検討しながら、道徳性の発達と教育の問題をさぐっていきたいと思います。

#### 教 育 史

助教授 上野 耕三郎

人間社会はいつの時代でも「教育」という営みを抜かして語ることはできない。いつの時代でも、その時代の社会がかかえていた教育の課題があったはずである。いつの時代のどのような教育思想、理論、政策、制度でも、その時代の教育課題についてのひとつの対応として現われてきたわけである。したがって、教育史は各時代の教育課題とそれに対する解決方法の提示の試みとみることもできる。

この講義では近代以降の教育を対象とし、各時代の教育課題が何であったか、そして当時の思想家、政策者がどのような課題解決の理論や政策を提示したかをあとづける予定です。

テキストは中野光・志村鏡一郎編『教育思想史』有斐閣新書を用いるので、各自用意しておくこと。

#### 職 業 指 導

非常勤講師 石井 茂

(元北海道教育大学教授)

講義は、最初に、職業指導の問題所在を指摘し、以下それにそって、講義を展開するが、都合により変更もあるので申し添えます。

1. 職業指導の問題所在
2. 職業指導と進路指導との関係
3. 職業と教養
4. 職業指導の史的考察—職業指導運動とその背景を中心として—
5. わが国における職業指導—学校職業指導を中心に1の史的考察
6. 職業指導の理論
7. 職業適性と心理学的諸検査
8. 企業と教育—企業内教育
9. 職業指導（進路指導）の現状と問題

教科書は、特に指定しない。  
参考書は、講義の中であずる  
評価には、出席状況を考慮する。

## 英文学概論 (前期) 教授 永原和夫

### 講義内容

1. 文学の本質と効用
2. 文学のジャンル
3. 文学の表現
4. モダニズムの文学

### 参考文献

Rene Wellek & Austin Warren: *Theory of Literature*  
David Daiches: *Critical Approach to Literature*  
Richard Ellman & Charles Feidelson, jr: *The Modern Tradition*

## 英文学概論 (後期) 非常勤講師 片山厚 (北海道大学教授)

使用テキスト: M.L. ベネディクト: アメリカ文学思潮史 (英宝社)  
アメリカ文学の歴史を辿りながら、要所で代表的作品の解説を加え、また受講者に作品について研究をうながしながら、アメリカ文学と文化についてその特色を学習することを目的とする。従って、受講者はテキスト並びに指定する作品を比較的短時間に容易に読むことができる語学力が必修である。その他は講義の初回に説明する。

## 英文学演習 II 助教授 君羅久則

1. 中島文雄編注 W. Shakespeare, *Macbeth*. (研究社小英文叢書) 850円
2. C.T. Onions, *Shakespeare Glossary* (Oxford Univ. Press)
3. 大塚高信 「シェイクスピア手帖」 (研究社)
4. 大塚高信 「シェイクスピアの文法」 (研究社)
5. 志子田光雄 「英語理解の基礎知識」 (金星堂)

上記 1. 2. 3. を開講時に準備しておくこと。その他の参考文献についてはその都度指示する。

## 英語学概論 助教授 高橋英光

前期) 古英語期から中期英語期を経て、現代に至るまでの「英語の歴史」を扱う。

後期) 「英語とはどのような言語か」というテーマで講義する。

参考図書は適時紹介する。受講者には定期試験の他に、レポート課題にも取り組んでもらう。2/3以上の出席のない者は受験資格を失う。遅刻は欠席扱いとする。

## 英語学演習 II 非常勤講師 浪田克之介 (北海道大学教授)

英語学の基礎的概念を検討する。テキストは *Modern Linguistics* (Penguin Books) を使用する。

## 英会話・英作文 外国人教師 Michael Carr

*Newsweek* magazine (every week)  
This will be an advanced course in English conversation and composition. Grades will be determined from comprehension of weekly readings in *Newsweek*, participation in classroom discussions, and written compositions. All compositions must be typewritten, not handwritten. More than three unexcused absences will automatically result in failure.

### Ⅲ 研究指導要項

#### 井上教官担当研究指導

##### 1 研究主題

International Economic History

##### 2 指導要領

3年次と4年次の前半まで約1年半をかけて、国際経済史に関するテキスト（英文）を読み、また研究主題に関連するわが国の研究史をフォローします。4年次の後半からは卒業論文の作成指導に重点を移します。

##### 3 テキスト

A.G. Kenwood & A.L. Lougheed, *The Growth of the International Economy 1820—1960*, 1971.

#### 長谷川教官担当研究指導

##### 1 研究主題

日本経済史のうち、近世後期(幕末開港前後の社会と経済)。

##### 2 指導要領

3・4年次一下記テキストの講読と史料の検討。卒業論文のテーマは上記主題に限定しなくともよいが、3年次末までに方針をたてること。

毎週かなりの量の論文や史料(文語文に近い漢文)を読むことになるので、中以上の漢和辞典・古語辞典および大型の国語辞典が必要になろう。

##### 3 指導テキストおよび参考書

〔入門〕加藤祐三著『黒船前後の世界』岩波書店、1985年刊、3,000円

〔テキスト〕青木美智男・河内八郎編『講座日本近世史7・開国』有斐閣、1985年刊、2,500円。史料集についてはおって指示する。

##### 4 申し込みの条件

歴史学・社会思想史・経済史概論・経済原論Ⅲ(マルクス経済学)などを履修していることが望ましい。

##### 5 選考の方法(面接・テスト等)

テストと面接による。その際大学入学後、日本史・世界史または社会科

学・社会思想に関して読んだ本(数冊)の著者・書名・出版社(または文庫・新書名)と内容を思い出しておくこと。

##### 6 その他

積極的な研究意欲と行動力を期待する。またゼミナールとしての共同の行事を大事にしてほしい。

#### 早見教官担当研究指導

1 研究主題: 政府収入および財政支出の経済効果および政府行動の順則について。財政学は経済理論の政策的応用分野であるという考え方で、経済理論の習得を主目的としている。

2 3年次生は以下をよむ。

Lee S. Friedman, *Microeconomic Policy Analysis* (McGraw-Hill Book Co., 1984).

4年次生は以下を読む。

Robert J. Barro, *Macroeconomics* (Wiley & Sons, 1984).

3 応募要件は募集期が来たら知らせます。

#### 久次教官担当研究指導

1 研究主題 統計学の数理的方法論に重点をおく。

2 指導要領

3年次 テキストの講読・討論・演習

4年次 追加文献の講読および卒業論文の作成  
卒業論文のテーマは下記の分野から選ぶ。

・統計学・計量経済学の数理的方法論

・実証分析

・統計に関するソフトウェア

3 指導テキスト

Maddala, G.S., *Econometrics*, McGraw-Hill, 1977.

4 申し込みの条件

統計学を履修中のこと。

経済学科以外に所属する者も受け入れる。

#### 5 その他

- (1) 解析学(偏微分など)、線形代数(逆行列、固有値問題など)については2年次までに修得しておくこと(未履修者も受け入れるが自習してほしい)。
- (2) 3年次において「数理統計学」を履修すること。

### 吉武教官担当研究指導

#### 指導要領

第4次生に卒業論文指導を行います。

### 鶴沢教官担当研究指導

#### 1 研究主題

理論経済学

#### 2 指導要領

3年次では、英文テキストによる学習、および、その他の論文を読む。  
4年次では、個別テーマに基づく卒業論文作成のための報告と討論を中心にする。

#### 3 指導テキストおよび参考書

Varian, Hal R., *Microeconomic Analysis*, 2nd edition, (W.W. Norton 1984). [1985年度使用].

Friedman, James W., *Oligopoly Theory*, (Cambridge U.P. 1983). [1986年度使用予定].

倉澤資成『入門価格理論』(日本評論社 1983年)。

### 遠藤教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

計量経済モデル

#### 2. 指導要領

3年次生は下記テキストの講読, 4年次生は卒業論文の作成が中心となる。

#### 3. テキスト

Deaton and Muellbauer, *Economics and Consumer Behavior*, Cambridge University Press, 1980.

### 栗田教官担当研究指導

#### 1 研究主題 経済学の古典と現代

2 指導要領 夏休み前までに、現代に至る経済学の歴史を概観する。そのあとは、3年次: アダム・スミス『諸国民の富』(岩波文庫版), I, II編を精読する。4年次は、卒業論文の作成。

#### 3 テキストおよび参考文献

1) R.B. Ekelund, Jr. and R.F. Hébert, *A History of Economic Theory and Method*, 2nd edition, McGrawhill-Kogakusha, 1981.

2) M. Blaug, *Economic Theory in Retrospect*, 4th edition, Cambridge University Press, 1985.

### 今教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

金融論およびマクロ経済学

#### 2. 指導要領

テキストを輪読する。また各自が選んだテーマについて報告してもらい、討論する。

#### 3. テキスト

3年次: Parkin, Michael, *Macroeconomics*, Prentice-Hall, 1984.

4年次: 卒業論文の作成

### 佐竹教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

## 国際経済学及び貿易政策

今年度は貿易政策が中心になろう。テーマについての私の考えについては、貿易政策の講義概要を参照されたい。

### 2. 指導要領

3年次は、国際経済学の基礎理論の習得とともに近年の保護貿易主義に対する理解を深めるために、下記テキスト等を講読する。4年次は卒業論文の作成。

### 3. テキスト

David Greenaway, *International Trade Policy*, Macmillan, 1983.

## 本間教官担当研究指導

### 1. 研究主題

経済発展および農業開発の数量経済分析。理論モデルの検討から生産性の国際比較、生産関数による技術進歩の計測などを通じて経済発展のメカニズムをさぐる。また、世界の食糧問題、南北問題、農産物貿易摩擦問題などにも触れ、その発生原因と解決策を検討する。

### 2. 指導要領

3年次は各種文献の輪読を主とするが、報告者とコメントのペア制をとり討論を重視する。

### 3. 参考書

速水佑次郎『農業経済論』岩波書店

菊池・清川『経済発展論』岩波書店

### 4. 申し込みの条件

根気のあること。理由のない欠席は認めません。

## 坪沼教官担当研究指導

家計の資産選択、企業の金融行動の分析をもとに、金融市場の一般均衡論的な分析を行なう。

### テキスト

Jan Mossin, *Theory of Financial Market*

## 船津教官担当研究指導

### 1. 研究主題

国際経済学の純理論的並びに実証的研究

### 2. 指導要領

3年次には、国際経済学の標準的なテキストを輪読する。同時に、計量経済学・ミクロ経済学の基礎を学ぶ。

4年次には、各自の設定した国際経済に関連するテーマについて論文を作成する。

### 3. 指導テキストおよび参考書

Wilfred Ethier, *Modern International Economics*, 1983

Norton & Company, Inc.

## 松井教官担当研究指導

1. 研究主題 国際金本位制からS D R問題に至る国際通貨制度の歴史及び理論

2. 指導要領 テキストの輪読

3. テキスト Leland B. Yeager, *International Monetary Relations*

## 山本(賢)教官担当研究指導

### 1. 研究主題

ミクロ経済理論とその応用：通常ミクロ経済学の教科書・講義では、省略されがちな幾つかのトピックス(例えば、情報・不確実性の経済分析、資本理論と動学など)を取り上げます。

### 2. 指導要領

3年次：ミクロ経済分析の習熟に努めます。その為に、基礎的な文献に接し、分析用具を身につけると共に、卒業論文のテーマを決定して頂きます。

### 3. 指導テキストおよび参考書

開講時に reading list を用意します。

## 石原教官担当研究指導

### 1. 研究主題

リーフマンは、“証券資本主義”という言葉を使って有価証券万能の時代の到来を予告したのであるが、現代は正に彼の言うとおりセキュリタイゼーションの時代だと規定しうるであろう。いわゆる“金融の証券化”が進行しつつある。それと二つのコクサイ化（国際化・国債化）が現代資本主義構造の性格を根本的に変えつつある。この時代の変化を理解しうる能力をゼミで学生一人一人に植え付けてやりたい。

### 2. 研究指導要領

- 1) 3年次生は基本的な文献を読んで厳しい態度で、経済現象を理論的・歴史的に分析しうる能力涵養に努力する。
- 2) 4年次生は卒論のテーマを意識しての個別指導。

### 3. 参考文献

- 1) 3年次生 アメリカの金融革新に関する文献を輪読する。
- 2) 4年次生 金融・証券・企業財務の領域の研究書を読む(個人的)。

## 久野教官担当研究指導

### 1. 研究主題

会計学(簿記学を含む)

### 2. 指導要領

3年次：わが国の『企業会計原則』の批判的研究と外書講読を中心にして基礎的知識を修得させる。

4年次：卒業論文の指導—各人の発表をもとにしてディスカッションを行う。

### 3. 指導テキストおよび参考書

3年次の後半において使用する外書は学生諸君と相談のうえ決定する。

### 4. 申し込みの条件

2年次終了時において語学その他の基礎教育科目の所要単位を取得し、かつ簿記学の単位を優秀な成績で取得可能な者。

### 5. その他

ゼミという組織にかんがみ、ゼミに求める以上にゼミに貢献できる人物を望みます。

## 篠崎教官担当研究指導

### 1. 研究主題

地域再開発に関する産業対策と地場企業経営の分析

### 2. 指導要領

全般：社会科学のものの考え方を基礎に現実の地域が抱える問題の解明へと至る。

三年次：社会科学および現代経営学の基礎的文献の講読。

四年次：アンケート、インタビューを含む実態分析などを通して卒論の作成へと至る。

### 3. テキスト

内田義彦『資本論の世界』岩波新書、バーナード『経営者の役割』ダイヤモンド社、島弘『科学的管理法の研究』有斐閣。

## 青山教官担当研究指導

### 1. 研究主題

証券と金融の諸問題および理論に関する研究

### 2. 指導要領

3年次には、まず基礎的理論の修得につとめ、その後現代の諸問題に取り組む。

4年次には卒論の作成を中心に指導する。

### 3. 指導テキスト

飯田裕康『貨幣と信用の理論』三嶺書房。

## 和田教官担当研究指導

テーマ：産業精神衛生。

企業体やそれを取りまく社会環境が、労働者にいかなる精神的問題を誘発

するかという点に焦点を合わせて研究する。

3年次：臨床心理学，社会病理学等，関連領域についての常識を養ってもらうために，文献，施設見学等を中心に概論的研究を行う。

4年次：3年次にえた知識をもとに，関心のあるテーマをできるだけ早く決定し，卒業論文の作成，完成を早期に目指す。

文献は，概論書は教室で用意する。また，専門論文は指定したものをコピーして使用してもらう。

### 鶴野教官担当研究指導

研究主題：組織現象の計測を主たる課題とします。

指導要領：2年間を次のように3期に分けます。

- (1) 組織論の知識を習得するため，適当な文献を指定し，それを各自分担して報告してもらう。
- (2) 組織現象の測定に必要な統計的手法を習得するため，適当な文献を指定し，それを各自分担して報告してもらう。
- (3) 組織現象を実際に測定し論文を作成してもらう。

指導テキスト：3年次，星野克美，『社会変動の理論と計測』，東洋経済新報社。岩田暁一，『経済分析のための統計的方法』，東洋経済新報社。

4年次，芝祐順，『因子分析法』，東京大学出版会。

その他：上記のテキストはあらかじめ購入しておいて下さい。また，計算センターにアカウントをとっておいて下さい。

### 榎本教官担当研究指導

#### 1 研究主題

多国籍企業の経営学的研究

#### 2 指導要領

3年次：基本文献の輪読

4年次：卒業論文の作成

#### 3 テキスト

占部都美 『改訂 経営学総論』 白桃書房 昭和60年。

吉原英樹 『多国籍経営論』 白桃書房 昭和54年。

その他

### 小田教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

企業形態論にかかわる諸問題

#### 2. 指導要領

3年次—テキストの輪読

4年次—各自の選択した卒業論文テーマに関する報告と討論

#### 3. 指導テキスト

長岡克行『企業と組織—ゲーテンベルク経営経済学研究—』，千倉書房，1984年。

その他，もう一冊読む予定(英語文献)。

### 中教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

管理会計

#### 2. 指導要領

3年次生：管理会計の学習を進めるにあたって基礎となる概念や方法を理解するために日本語文献によって原価計算の学習を輪読形式で行なう。

4年次生：当初外国文献を講読しながら，各自の選択したテーマについて報告と討論をくり返して，最終的に卒業論文の作成へ導く。

#### 3. 指導テキストおよび参考書

3年次生：別途指示する。

4年次生：Dopuch, Birnberg & Demski, *Cost Accounting*, 3rd ed., Harcourt 1983.

#### 4. ゼミ所属の条件



2年次修了までに簿記学の単位を良い成績で取得可能な者。

### 林教官担当研究指導

1. 研究主題  
労務管理論および組織心理学
2. 指導要領  
3年次生：まず上記の研究主題について基礎的認識をもってもらい、できるだけ早い時期に個人研究のテーマを設定できるようにしたい。  
4年次生：個人研究の報告と議論（実証研究を奨励する）。
3. 指導テキストおよび参考書（論文も含む）は多数、適宜指示。

### 福島教官担当研究指導

1. 研究主題  
原価計算および管理会計
2. 指導要領  
3年次の前半では基本的な「原価計算」および「管理会計」のテキストによって基礎知識を身につけ、その後半から4年次にかけて「管理会計」の外国語文献（英文）の精読によって理解を深める。ひきつづき卒業までに、各自選択したテーマで卒業論文を執筆する。  
いずれの段階においても単なる知識の修得だけでなく、討論をとおして研究主題特有の考え方を培うことを目標とする。
3. テキスト  
3年次前半で使用するテキストは辻厚生編著『管理会計の基礎理論』（中央経済社，1985）および津曲直躬『原価計算論講義』（中央経済社，1985）。後半から使う外国語文献は未定であり、ゼミ生と相談して決定するが、今のところD.T. DeCoster and E.L. Schafer, *Management Accounting: A Decision Emphasis*, 3rd ed. を考えている。  
参考文献は適宜指示する。
4. 留意事項

ゼミ生には旺盛な研究意欲とならんで地道な学習努力を要求する。

### 松本教官担当研究指導

1. 研究主題  
簿記，財務会計論，および国際会計論
2. 指導要領  
3年次：上記研究主題について文献を数冊輪読しますが，とくに今年度後半は，国際会計論に重点を置きたいと考えています。  
4年次：卒業論文の作成を最終目的として，各自の選択したテーマについて発表と討論を行います。
3. 指導テキストおよび参考書  
来年度については未定ですが，ゼミ生たちと相談のうえで決めたいと考えています。
4. 申し込みの条件  
勉強意欲のあるだけでなく，ゼミ活動に対して何らかの貢献をなすような個性ないし魅力のある者を望みます。なお，税理士等の試験に挑戦してみようという者については大いに奨励します。
5. その他  
2年次終了時において簿記学を履修したか否かについてはこだわりませんが，ゼミ開始（4月）までに基礎的な簿記知識を各自習得しておくことを求めます。

### 森田教官担当研究指導

1. 研究主題  
国際経済関係論。とくに東西経済関係と日本経済の役割について考える。
2. 指導要領  
3年次：文献の輪読を通じて問題意識を形成し，基本的枠組みを修得する。  
4年次：自らの問題意識を基本的枠組みに照らして分析する作業の指導を行なう。

### 3. テキスト

Christopher T. Saunders (ed.,) *East-West Trade and Finance in the World Economy: A New Look for the 1980's*, The Macmillan press, 1985.

## 山本(真)教官担当研究指導

### 1. 研究主題

簿記および財務会計

### 2. 指導要領

3年次においては、文献講読、レポート提出により会計学の基本的思考を修得し、4年次において、各自の選択したテーマに従って卒業論文を作成する。指導計画は次のとおりである。

3年次前期：邦語テキストの輪読と報告

3年次後期：外国語テキストの輪読と報告

4年次前期：上記の継続

4年次後期：卒業論文の作成指導

### 3. テキスト

飯野利夫著『財務会計論』（同文館）

外国語テキストについては未定

## 青竹教官担当研究指導

### 1. 研究主題

会社法の研究

### 2. 指導要領

会社法に関する具体的問題をテキストおよび参考書より取り上げて検討してもらい、会社法が企業活動とどのように関わっているかを知ってもらう。

なお、4年次は主として卒業論文の作成指導とする。

### 3. 指導テキストおよび参考書

(1) 上柳・鴻・竹内編『会社法演習Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ』有斐閣

(2) ジュリスト別冊『会社判例百選(第四版)』有斐閣

(3) ジュリスト増刊『商法の争点(第二版)』有斐閣

## 秋山教官担当研究指導

### 1. 研究主題

「行政判例の研究」

過去の重要な行政判例をとりあげ、具体的なケースを通して行政法の理解を深めるとともに、法律的な分析能力、思考能力を養うことをねらいとする。

### 2. 指導要領

3年次生はとりあえず下記の(1)を用い、行政判例の読み方と解釈論の基礎を身につける。4年次生は下記(1)および(2)を用い、直接判決文に当たりながら深く判例理論を分析する能力を養うこととし、後半は卒論作成を中心とする。

### 3. 指導テキスト

(1) 行政判例百選Ⅰ, Ⅱ (別冊ジュリスト)

(2) 判例時報

なお、昭和61年度ゼミ履習者は、4月開講時までに各自上記(1)を入手しておくこと。

## 大谷教官担当研究指導

### 1. 研究主題

国際社会と法秩序

### 2. 指導要領

3年次：原書講読

4年次：卒論指導

必要に応じて、国際的な時事問題についてのディスカッションを行う。

### 3. 指導テキスト

S. DREYFUS, *Droit des relations internationales: Eléments de droit international public*, Cujas Paris 1981, 2<sup>e</sup> ed.

## 神田教官担当研究指導

- 1 研究主題  
民法学における重要問題の研究
- 2 指導要領  
重要判例や事例問題の検討をととして民法の全体像・運用の実際を理解するとともに、民法学上の現代的課題を研究する。  
毎回、2名の者から、問題の検討ないし研究の結果を報告してもらい、それをうけて、全体でその当否を論議し、問題の一層の究明を図る。  
4年次の9月以降は、卒論の指導に比重を置く。
- 3 指導テキストおよび参考書  
指導テキスト——谷口知平・加藤一郎編「新版・判例演習民法1～5」有斐閣  
参 考 書——加藤一郎・米倉明「民法の争点I～II」有斐閣  
星野英一・平井宣雄「民法判例百選I～II」有斐閣  
加藤一郎・太田武男「家族法判例百選」有斐閣

## 飯塚教官担当研究指導

- 1 研究主題  
不法行為法の諸問題  
不法行為法についての総合的研究を行う。  
アメリカ不法行為法につき最新の論文を読む。  
日本不法行為法につき、最新の論文集を読む。
- 2 指導要領  
(1) テキストの輪読および報告。  
(2) 4年後期は卒論指導。  
(3) 卒論要旨集を発行する。
- 3 指導テキストおよび参考書  
(1) Sugarman, Doing Away with Tort Law, 73 California L. Rev. 555  
(2) 『民法講座(6)』有斐閣 4,000円

## 桑原教官担当研究指導

- 1 研究主題  
国際取引法上の諸問題
- 2 指導要領  
3年次および4年次前半 下記テキストの輪読  
4年次後半 卒業論文指導
- 3 指導テキスト  
Gutteridge & Megrah, The Law of Bankers' Commercial Credits 7th ed. (1984)

## 島田教官担当研究指導

- 1 研究主題 現代労働法学の諸課題の検討
- 2 指導要領  
3年前期 労働法に関する基礎知識の修得を目標とします。  
後期 労働法の主要論点を検討します。  
4年前期 新しい判例を素材として、現実に生起する諸問題を研究します。  
後期 卒論指導
- 3 テキスト  
久保敬治・下井隆史『労働法を学ぶ人のために』 世界思想社

## 清水教官担当研究指導

- 1 研究主題  
国際経済法。特に、ガットならびに米国および欧州共同体の法制度を中心に、国際通商の法的問題を研究します。
- 2 指導要領  
3年次および4年次前半—下記テキストの第10章以下を講読します。  
4年次後半—卒業論文作成の指導をします。
- 3 指導テキスト

Edmond McGovern, *International Trade Regulation* (1982)

第10章 セーフガード措置

第11章 補助金およびダンピングに関する国際的ルール

第12章 相殺関税およびダンピング防止税：米国および欧州共同体の  
法制度

第13章 一般的例外および安全保障のための例外

第14章 農産物

第15章 商品協定

第16章 工業製品の管理貿易

### 中島教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

民事訴訟法学における重要問題の整理と検討

#### 2. 指導要領

4年次生：各人の選択した卒論のテーマについて発表と討論を繰り返す。

### 中村(恵)教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

国際法上の基本問題

#### 2. 指導要領

3年次——下記テキストの輪読及び国際法判例の研究

4年次——卒業論文作成指導

#### 3. 指導テキスト

皆川洸『国際法研究』（有斐閣，昭和60年）

判例については，その都度指示する。

### 丸山教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

経済刑法に関する個別的問題

#### 2. 指導要領

経済刑法に関する個別的問題のうち，比較的議論の多いものを選び，各問題毎に報告者を定め，その報告にもとづいて討議する。なお，それと併行して，判例の検索，学説の調べ方等について指導する。

#### 3. 指導テキスト

特に指定しない。参考書として，内田文昭・刑法各論〔第二版〕（昭和59年，青林書院新社）を用意されたい。

### 結城教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

近代立憲主義の基本原則

#### 2. 指導要領

3年次 下記テキストの輪読及び討論

4年次 卒業論文の作成・報告

#### 3. テキスト

杉原泰雄編『憲法学の基礎概念Ⅰ』（講座憲法学の基礎・第1巻）勁草書房。

### 和田(健)教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

競争と経済規制

#### 2. 指導要領

審・判決例を素材として上記の研究主題にとりくむ。あらかじめ各自に担当するテーマを与えるが，担当者のみならずゼミ生すべてが事前に配付された資料・文献を読んでゼミに臨むことが要求される。ほぼ一年間は全員がレポート提出の義務を負う。

#### 3. 参考書

改めて指示する。

#### 4. 注意事項

財産法Ⅰ，Ⅱ，憲法，行政法の講義を受け単位を取ること。

## 戸島教官担当研究指導

### 1. 研究主題

Lisp および Prolog 処理系の開発。

数式処理プログラムの開発。

④ 端末制御プログラムの開発。

CP/M, MS-DOS の customization.

### 2. 指導要領

現在進行中の上記プロジェクトのいずれかに参加して仕事を分担する。

### 3. 指導テキストおよび参考書

その都度指示する。

### 4. 申し込みの条件

管理科学科の計算機関係の講義をすべて受講しうる者。

## 沼田教官担当研究指導

### 1. 研究主題：オペレーションズ・リサーチ

オペレーションズ・リサーチには多数・多種類の分野や手法がある。それらのすべてについて勉強することは不可能であるが、オペレーションズ・リサーチ全般についての基礎的知識、理解を形成することを目的とする。

### 2. テキスト：

L.J. Krajewski & Thompson H.E., Management Science: Quantitative Methods in Context (Wiley, 1981)(The Wiley Series in Management)

### 3. ゼミ所属の条件：

イ. 管理科学概論履修済みのこと。

ロ. 応用数学(代数)に合格すること。

ハ. 計算機論 I (情報処理 I) 不合格の場合は辞退してもらう。

## 樋口教官担当研究指導

### 1. 研究主題

社会システム・モデルに関する理論的および実証的研究

### 2. 指導要領

3年次：テキスト講読とコンピュータ・プログラミング演習。

4年次：テキスト講読および社会システムのモデル構築のためのシステム分析、データ収集、プログラム開発ならびにデータ解析(卒業研究)。ゼミで扱う研究内容は管理科学Ⅱでとりあげたテーマをより詳細にしたものと考えてさしつかえない。したがってそれを必ず受講することを条件とする。

### 3. テキスト

本年度はまだ未定である。

## 山田教官担当研究指導

### I. 研究主題

1. Office Automation についての基礎的理論研究(マイコン、オフコンの操作、プロジェクトへの参加により、OAをはだで感じてもらう。)

### 2. 経営情報論

(OAのバック・グラウンドである企業組織について文献研究。)

3. 組織管理を目指す情報システムの理論構築(OA, FA, MA, LA, HA等の各Automationの融合理論にまで発展させる。)

FA=Factory Automation, MA=Management Automation, LA=Laboratory Automation, HA=Home Automation

### II. 指導要領

商学部のゼミとして、実践的な研究を行う。将来の企業人を養成できると信ずる。卒論のテーマ及び使用するテキスト等は、相談の上決定する。

1) 3年目/①使用テキストを決め輪読形式で研究

②Computerの操作及び基礎知識の修得

③実践的なプロジェクトへの参加

2) 4年目/①各自のテーマ設定による卒論の完成

②理論と実践のマッチングを行う

③実践的なプロジェクトへの参加

### III. 指導テキストおよび参考書

1. アメリカ及びドイツの組織システム論についての文献
  2. アメリカの Management Science についての文献
  3. アメリカの Computer Science についての文献
- (1は輪読。2, 3は各自のテーマに添い選択。いずれも文献は相談の上決定する。)

#### IV. 申し込みの条件

真の人間尊重をめざした道具（パートナー）としての Computer の活用の実践に向けて、意欲を傾ける努力家を歓迎する。

#### 清水川教官担当研究指導

##### 1 研究主題

統計学

##### 2 指導要領

統計手法の使い方を学ぶ。

##### 3 テキスト

W.R. Dillon 他,

“Multivariate Analysis”

methods and applications 1984.

#### 杉本教官担当研究指導

##### 1. 研究主題

情報処理の基礎理論と応用

##### 2. 指導要領

3年次：言語情報処理の基本である、句構造文法、構文解析、コンパラ、自動推論などについて学習する。これと平行して、Prolog 言語や、Lisp 言語等を用いてプログラムをつくり、理論を実際に応用する。

4年次：3年次に学習した人工知能の手法を応用して、卒論作成を行う。

##### 3. テキスト参考書

西田富士夫 言語情報処理, コロナ社

後藤滋樹 PROLOG 入門, サイエンス社

中島秀之 Prolog, 産業図書

Nilsson, N.J., Artificial Intelligence

#### 若林教官担当研究指導

##### 1. 研究主題

「管理科学の基礎的研究」

I) 数理計画法とコンピュータ

II) マイコンとオペレーションズ・リサーチ

##### 2. 指導要領

(イ) 管理科学の幅の広いものの見方・考え方を養う。

(ロ) 英語テキストの精読と演習。

(ハ) 下記のテーマについて卒業論文の作成と指導

1. 数理計画法（モデリング、解法、応用）

2. 情報と組織, ゲーム理論

3. 人工知能（エキスパートシステム, グラフィックス）

4. ネットワーク・グラフ理論

##### 3. 指導テキスト

Robert Sedgewick, *Algorithms*, 1983 を予定。

#### 中村(隆)教官担当研究指導

##### 1 研究主題

確率システム解析

待ち行列理論, 信頼性理論, マルコフ連鎖などを用い, システムを解析する手法を学ぶ。

##### 2 指導要領

3年次：テキスト講読・演習

4年次：卒業論文作成指導

##### 3 指導テキスト

J.L. Snell: “確率と BASIC”, 共立出版。

K.S. Trivedi: “Probability and Statistics

with Reliability, Queuing and  
Computer Science Application", Prentice-Hall.

### 永原教官担当研究指導

1. 研究主題  
英米小説及び文芸批評
2. 指導要領  
3年次：毎週短篇小説一編を読み、発表・討論を行なって文学研究の基礎を養い、あわせて現代文芸批評についても指導する。  
4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）作成を最終目的として報告と討論を中心にする。
3. 指導テキストおよび参考書  
Brooks & Warren. *Understanding Fiction*  
E.M. Forster. *Aspects of the Novel*  
Wayne C. Booth. *The Rhetoric of Fiction*  
原田敬一訳、「MLA 新英語論文の手引」（北星堂）

### 君羅教官担当研究指導

1. 研究主題  
英文学（シェークスピア及び詩）
2. 指導要領  
3年次：毎週英詩数編を読み、発表・討論を行ない、英詩の分析法を中心に文学批評・研究の基礎を養成する。  
4年次：各自の研究テーマについて卒業論文（英文40枚程度）を最終目的として報告と討論を中心にする。
3. 指導テキストおよび参考書  
C. Books & R.P. Warren: *Understanding Poetry*, 4th ed.  
(Holt, Rinehart and Winston, 1976)  
F.T. Palgrave: *The Golden Treasury* (Oxford U.P., 1964)  
原田敬一訳『MLA 新英語論文の手引』（北星堂）

4. 申し込みの条件  
(1) 商業教員養成課程に所属していること。  
(2) 英語教員免許のための教職に関する専門科目を24単位以上取得のこと。
5. 選考の方法（面接・テスト等）  
面接による。ただし、決定に際しては1年次英語共通試験の成績を参考に  
にする。（テストを課す場合もある）。

### 下村教官担当研究指導

言語音声学 (Linguistic Phonetics) の研究指導をします。今年度は、①  
音声音素論 ②生成音韻論 ③実験音声学を中心に指導します。  
卒業年次生には、各自の関心に応じたテーマを設定し、研究論文にまとめ  
あげる手助けをします。この論文には、必ず実験音声学による資料の解析結  
果が盛り込まれていなければなりません。

#### 申し込みの条件

- (1) 商業教員養成課程に所属していること。
- (2) 英語教員免許のための教職に関する専門科目を24単位以上取得のこと。

## IV 一般教育ゼミ

一般教育ゼミ (日本文学) 教授 村山 出

「短歌」は滅亡を論じられながら、なお多くの歌人達に支えられて命脈を保ち続け、その抒情の性格を否定しようとする立場からも強く意識され続けています。

このゼミでは、参加者が「短歌」について自由に論評し合い、自分でも創作して「短歌」の世界に迫ってみたいと思います。未経験でも「短歌」について考え、「短歌」を作ってみたいと思う人は、下記の日時に集まって下さい。

日時：4月24日(木)16時20分

場所：457室(新棟4階)

一般教育ゼミ (数学) 助教授 兼 岩 龍 二

今年はガロアの理論の輪読ゼミを行います。テキストは未定です。学年・既履修科目は問いません。したがって初年次の方の参加も歓迎します。

参加希望者は4月21日(月)16:30に小生の研究室に集まって下さい。

一般教育ゼミ (ドイツ語Ⅲ) 助教授 大 塚 讓

すでにドイツ語Ⅰ・ドイツ語Ⅱを修得し、さらにドイツ語の勉強を続けたい人を対象とします。テキストは、Mafred Glück: Die Bundesrepublik Deutschland heute-Informationstexte für Studenten(郁文堂 1000円)。ドイツ現代文に触れながら、複雑な初級文法項目の復習や中級文法項目の習得、さらには応用作文練習などを通じて、正確な読解力を養成することを主眼において授業を進めます。折に触れて、新しいビデオ教材: Deutschland Spiegel から、テキストと関連するテーマを扱った映像を見ることによって授業に幅を持たせたいと思います。後期はもっと本格的な時事的評論文に進む予定です。やや厳しい授業になるでしょうが、辞書さえあればほぼどんな現代文でもひとりで読みこなせる、言葉の本来の意味での中級の実力の達成を目指してほしいと思います。

## V 卒業論文執筆要領

卒業論文の形式について一般的な原則をのべるが、専攻分野ごとに、用語・文献の引用方式・記号の利用などに差があるので、指導教官の指示に従うこと。

### I. 用紙など

和文で執筆する場合には、所定の原稿用紙を使用し、黒またはブルー・ブラックのインクを用いる。油性インクのボールペンは避けた方がよい。文字は楷書とし、誤字・脱字に注意する。多色にする必要がある場合にも一定の方針をたてて統一し、さらに、必要最低限の多色化にとどめること。欧文で執筆する場合には、通常サイズの白地のタイプライター用紙にタイプ印刷する(いわゆるオニオンスキンは使用しない)。

### II. 提出期限など

今年度は、1月31日(土)12時30分(時間厳守)なので十分留意すること。仮り綴じのうえ、附属図書館で図書返却の確認を受けたのち、製本料を添えて教務係に提出する。仮り綴じのためには、教務係のドリルを使用してもよい。製本料は確定次第掲示で通知する。

表紙のみ、あるいは目次程度、または序章程度といった論文とは認めがたい卒業論文は受理しない。

### III. 表紙および裏表紙

表紙と裏表紙は本文と同一の用紙を用いる。表紙には論文のタイトル、学生番号、氏名、ゼミナル名、および提出年度(昭和61年度提出)を記し、裏表紙に図書館の確認印を受ける。タイトル等は原簿に記入され、成績証明書、図書館の目録カード、製本後の背表紙の書きこみ等の場合に必要になるので、正確に書くこと。なお、副題をつける場合には、その左右を棒線ではさむ。



#### IV. 「はしがき」と「目次」

「はしがき」(「まえがき」,「序」)にはテーマを選択した動機などを書く。なお,指導や助言を受けた人達,調査等に協力した人達に対する謝辞もここに書く。ただし,「はしがき」は省略してもよい。「はしがき」と「あとがき」の両方を書くことは,卒業論文の場合,概して不適當である。

「目次」は「表紙」または「はしがき」の次の用紙に書く。必要に応じて,「表目次」,「図目次」を別につけ加えてもよい。

#### V. 本 文

- (1) 文体は「……である」の形とし,なるべく簡潔な文章とする。
- (2) 新しい章は新しいページから始める。
- (3) 章題と文章,あるいは,章題と節題の間は1行あける。
- (4) 章(節)の番号と章(節)題の間は1マスあける。
- (5) 各節の間は2行あける。
- (6) 新しいパラグラフの始めは1マスあける。
- (7) 句読点などは1字とする。ただし,行末の句読点は「ブラサゲ」として,マスの欄外に書き,次行のはじめにはもっていかない。
- (8) 欧字と算用数字は,原則として2字で1マスとする。
- (9) 欧文イタリック文字は,単語の下または文章の下にアンダーラインを引いて示す。

#### VI. 図 表

表とグラフは,グラフ用紙や集計用紙に書いて,原稿用紙の当該箇所にはりつける。場合によっては「別表」として論文の末尾にまとめてよい。原稿用紙と同じサイズになる場合には,はりつけずに,そのまま1ページ分として綴じこんでもよい。他の文献等の図表のコピーをそのまま利用することは,特別の場合を除いて,避けるべきである。計算機のプリントアウトは,サイズがあえば,そのまま1ページとしてよい。これらの場合に,製本のときにヘリを数ミリメートル切り落すことがあるので,上下左右は十分にマージンをとっておくことが必要である。また,図表には出所を明記する。

#### VII. 「 注 」

指定原稿用紙では「脚注」をつけることができる。しかし,1つの注を3ページ以上に分けることは不適當であるから,長い注については工夫が必要である。注は各章の終りにまとめて書いてもよい。なお,注のなかに注をおいてはいけない。

#### VIII. 引用文献,参考文献,および引用について

文献からの引用には必ず「」(欧文引用のときには“ ”)をつけ,その文献を注などで明示する。なお,原典自体のなかに「」(または“ ”)が含まれる場合には,原典中「」(または“ ”)を『』(または‘ ’)に代える。要約して引用するときには,原文の文意を損わないようにし,更に要約引用の範囲が分るように,出典と引用箇所を(たとえば注を用いて)明示する。「孫引き」は,できるだけ避けて,原典にあたってチェックすべきであるが,やむを得ない場合には再引用であることを明記する。

引用文献,参照文献は注番号を明示したうえで,脚注部分に記載するか,または論文末尾(または各章末尾)に一括して記載する。文献記載の原則は次の通りである。

#### 和 書

著者名『書名』,出版社名,出版年。

または

著者名『書名』(出版社名,出版年)。

引用ページを明示する場合には,このあとに引用ページを書く。

<例> 藤瀬浩司『資本主義世界の成立』(ミネルヴァ書房,1980年),  
56頁。  
小宮隆太郎・天野明弘『国際経済学』,岩波書店,1972年,PP.  
8-10。

翻訳書の場合にも

<例> J. ブーヴィエ(井上隆一郎訳)『ロスチャイルド』(河出書房新社,  
1966年),第3章。

R. A. Mundell, *International Economics*, New York:  
Macmillan, 1968, (渡辺・箱木・井川訳『国際経済学』,ダイア

モンド社, 1971年)。

などが通常の形式である。(なお, 以上は文献を引用するときの原則であるから, 提出卒業論文の表紙のタイトル全部を『』でかこんではならない。)

和雑誌のなかの論文 (および論文集の中の一つの論文)

著者名「論文名」, 『雑誌名』第△△巻, 第△号 (発行年)。

著者名「論文名」, 編者名『書名』出版社名, 出版年。

(または, 著者名「論文名」, 『書名』(編者名)出版社名, 出版年)。

などとする。

<例> 関口尚志「イングランド銀行バーミンガム支店」, 『経済学論集』(東京大学)第47巻第2号, ××頁。

岡田純一「近代経済学とスミス」, 経済学史学会編『国富論の成立』, 岩波書店, 1976年, p. 345. (複数ページの場合, pp. 345 ~ 351.)

洋書および洋雑誌のなかの論文

著者名, 書名, 出版地: 出版社, 出版年

著者名, “論文名”, 雑誌名, **Vol.** 巻数, **No.** 号数 (発行年)

等とする。ただし, 出版地: 出版社を( )に入れることもある。また“論文名,” 雑誌名の代りに“論文名”, 雑誌名とすることも多い。著者名は **A. Smith** とする場合と **Smith, A.** とする場合の両方があるが, 著者名が2つ以上並ぶ(共著の)場合に, 2人目以後の人名については, **A. Smith** (または **Adam Smith**) のようにファースト・ネームを先に書くのが一般である。雑誌の **No.** 号数はしばしば省略する。また, **Vol.** および **No.** の代りに **vol.** および **no.** とすることも多い。

これらについては, 標準的な図書および雑誌を参照して, もっとも適当と思われるものを選択したうえで, 統一して使用する。

さらに, op. cit., loc. cit., Ibid., (または ibid.) 等もよく利用される  
辞書などで意味を調べて, 誤用しないことが必要である。

## 参考文献

パーカー, W.R. 監修 (原田敬一訳) 『MLA英語論文の手引— The MLA Style Sheet—』(北星堂書店, 改訂版, 1969年)。

トウラビアン著 (高橋作太郎訳) 『英語論文の書き方』(研究社出版, 1982年)。

※ この要領をまとめるに当っては, 何人かの教官の御協力をいただいたが, とくに、『井上ゼミナール用卒業論文執筆要領』と佐竹教官がまとめたメモとを参照した。

注(1) 書名, 雑誌名についているアンダーラインはイタリックを使用せよという指示である。

注(2) op. cit., loc. cit., Ibid., は, 引用によってローマン体を使うかイタリック体を使うかわかる。

<例> op. cit., (前掲の意味) で前掲が, 論文名であればローマン体, 前掲が書名, 雑誌名であればイタリック体を使用する。  
loc. cit., (上記引用文中), Ibid., (同上) も同様である。  
なお, Ibid については, 先頭に来る時は大文字となる。